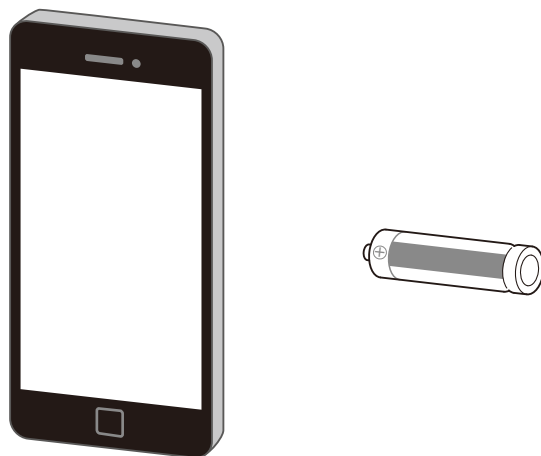


FamiLock 電池式

取扱い説明書



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための取扱い方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。
ご留意いただくとともに、大切に保存してください。

電気錠に関するトラブル診断やご使用方法などがご確認いただけます。

玄関ドア 電気錠サポート

<https://www.lixil.co.jp/support/q/d/de03.htm>



目次

	ページ		ページ
■重要なお知らせ		■登録データの削除	
■警告用語の種類と意味	1	1. 上書きによる削除方法	24
■特に注意していただきたいこと	2・3	2. アプリから削除する	
■各部の名称と主な機能説明		3. すべての登録データを削除する	25
1. システム全体の名称	4	■リモコンについて	
2. オプション品の機能一覧（できること）	5	1. リモコンの電池を交換したい	
■ご使用前に実施していただきたいこと		2. リモコンの電池交換時期を知りたい	
1. ドアに電池を入れる、交換する	6	3. 標準キーの収納方法と取り出し方	26
2. 登録できる玄関キーについて	7	4. リモコンのスリム化（キー収納ブロックの取外し）	
3. カードキー・タグキーを登録する	8	5. ストラップの通し方	
4. リモコンの電源 ON/OFF 機能について	9	6. リモコンのオートスリープ機能について	27
5. リモコンを登録する		■ワイヤレス屋内ボタンについて	28
6. スマートフォンを登録する（アプリのインストール）		■お手入れ方法	29
■FamiLock の通信仕様		■こまったときには	
1. 通信エリアと認証エリア		1. 故障かな？と思ったら	30・31
2. 電波の特性について	10	2. ドアのアザー音と LED 表示について	32
■アプリの使い方		3. リモコンのランプ表示について	
1. 機能紹介	11	4. テンキーのエラー表示について	33
2. 電気錠の設定方法	12・13	■商品仕様	34
3. 「セキュリティエリアコントロール」機能	13	■アフターメンテナンスについて	35
■使い方		■商品保証について	36
1. タッチボタンで解錠する	14		
2. タッチボタンで施錠する			
3. 遠隔操作で施解錠する	15		
4. テンキー入力にて施解錠したい	16		
5. ワイヤレス屋内ボタンから施解錠したい	17		
6. 電池交換の時期を知りたい	18		
7. 自動施錠と連動施錠の切替え			
8. シリンダーやサムターンから施解錠したい	19		
9. 防犯機能について知りたい	20		
■ご使用上の注意事項について	21		
■テンキー付き屋外リーダーの機能設定・ 暗証番号登録方法	22		
■ワイヤレス屋内ボタンの登録方法	23		



重要なお知らせ

ご使用の前に

●安全のため、必ずお守りください。

「FamiLock」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。もしこの取扱い説明書にしたがわず、乱用または誤用によるケガおよび損害が発生した場合は、株式会社 LIXIL およびその販売会社に責任はないものといたします。



1. この取扱い説明書に記載してある注意事項が、すべての危険を含んでいるわけではありません。したがって、「FamiLock」のご使用およびお手入れを行う際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
2. この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
3. この取扱い説明書についての質問またはより詳しい情報が必要な場合は、下記の窓口までご連絡ください。

問合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL 修理受付センター	 0120-413-433

警告用語の種類と意味

※この章では「FamiLock」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

この「取扱い説明書」では、危険度（または事故の大きさ）にしたがって、次の3段階に分類しています。以下の用語が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）にしたがってください。

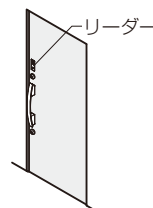
警告用語	意味
 警告	取扱いを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。
 注意	取扱いを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促す情報で、使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

特に注意していただきたいこと

(安全のため、必ずお守りください)

警告

- リモコンや小型の電池は乳幼児の手の届く所に置かないでください。電池を飲み込んだ場合は直ちに取出す必要がありますので、すぐに医師に連絡し、指示を受けてください。電池を飲み込むと、化学やけど、粘膜組織の貫通など、最悪の場合は死に至るおそれがあります。
- 心臓ペースメーカーなどの植込み型医療機器を装着されている方は、リーダーの () マークから 22cm 以内に植込み型医療機器が近づかないようにしてください。また、本製品の磁石に植込み型医療機器を近づけないでください。ドアのリーダーからの電波が植込み型医療機器の作動に影響を与えるおそれがあります。
- 電池の使い方を誤ると、電池が発熱、液漏れ、破裂し、ケガや火災のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・ 電池の液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受けてください。
 - ・ 電池を火の中に入れて、加熱、分解しないでください。
 - ・ 電池の (+) と (-) を逆にして使用しないでください。
 - ・ 新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。

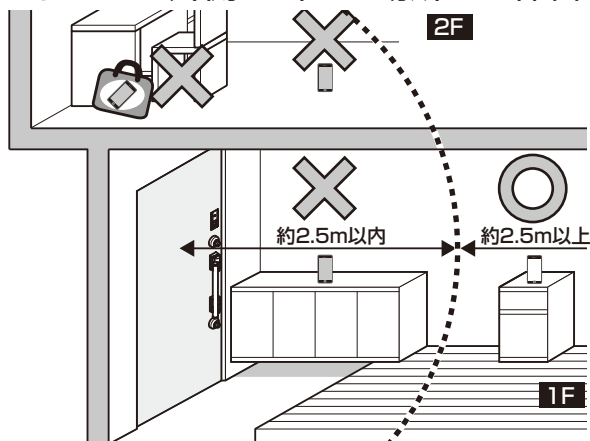


注意

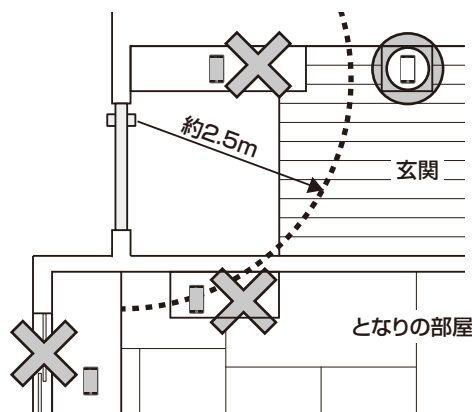
- 登録済みのリモコンまたスマートフォンを玄関ドア付近に放置しないでください。タッチボタンを押し、不正に解錠（施錠）が行われ第三者に侵入されることがあります。リモコン・スマートフォンの保管は、玄関ドアから 2.5 m 以上離れたところにしてください。(リモコンの電源が ON の場合、スマートフォンの Bluetooth® 機能が ON の場合)

※現場環境によって、安全な保管距離 (2.5m) は前後する場合があります。

※ドアより外側に当たる場所での保管は距離に関係なく避けるようにお願いします。



※特に 2F で保管する場合は注意が必要です。



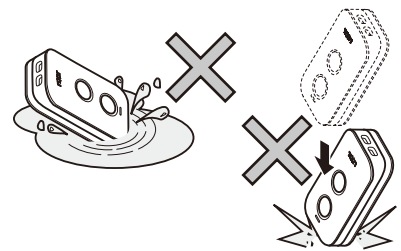
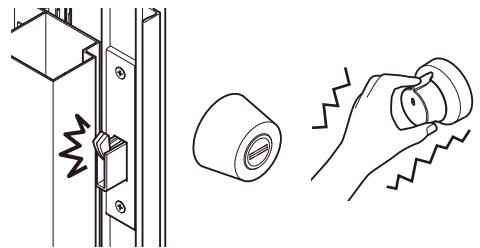
※となりの部屋でも影響を受けます。

⚠ 注意

- 電池の使い方を誤ると、電池が発熱、液漏れ、破裂し、ケガや周囲を汚損するおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしないでください。
 - ・電池を水などで濡らさないでください。
 - ・電池は、直射日光・高温・高湿の場所を避けて使用、保管してください。

■お願い

- 作動中にサムターンに触れたり、ドアを開けたりしないでください。錠が枠に当たりキズが付いたり一時的にサムターンが固くなることがあります。
- 電池切れや故障など、万が一の事態に備えて、カギ(🔑)も携帯するようにしてください。
- 分解や修理、改造を行わないでください。機器が壊れることがあります。また、本製品は総務省の技術基準に適合しており、改造すると法律により罰せられることがあります。
- 故障の原因となりますので機器全般において以下の使用方法をお守りください。
 - (1) 機器に水などをかけないでください。
 - (2) ストープなど高温の物を近づけないでください。
 - (3) 加湿器など湯気の出る物を下に置かないでください。
 - (4) 強い力を加えないでください。
- リモコンについては、次の使用方法も併せてお守りください。破損や故障の原因になります。
 - (1) 落下などによる衝撃や強い力を加えないでください。
 - (2) 水の中に落とすなど水没させないでください。
 - (3) 窓際や車のダッシュボードの上など高温となる場所に置かないでください。
- セキュリティを向上させるため、アプリと玄関ドアのファームウェアは最新の状態を保ってください。
- 住宅を購入・転売・借入などされた場合は、ご使用開始前に「すべての登録データを削除」してください。この操作により、工事中や前入居者の登録情報が削除されますので不正な利用が防止されます。
- ご使用前に点検して異常があれば操作を中止し、工務店様・販売店様または当社お客さま相談センターにお問い合わせください。
- 製品の設置や修理は必ず専門業者に依頼してください。人身事故や物損事故につながるおそれがあります。



各部の名称と主な機能説明

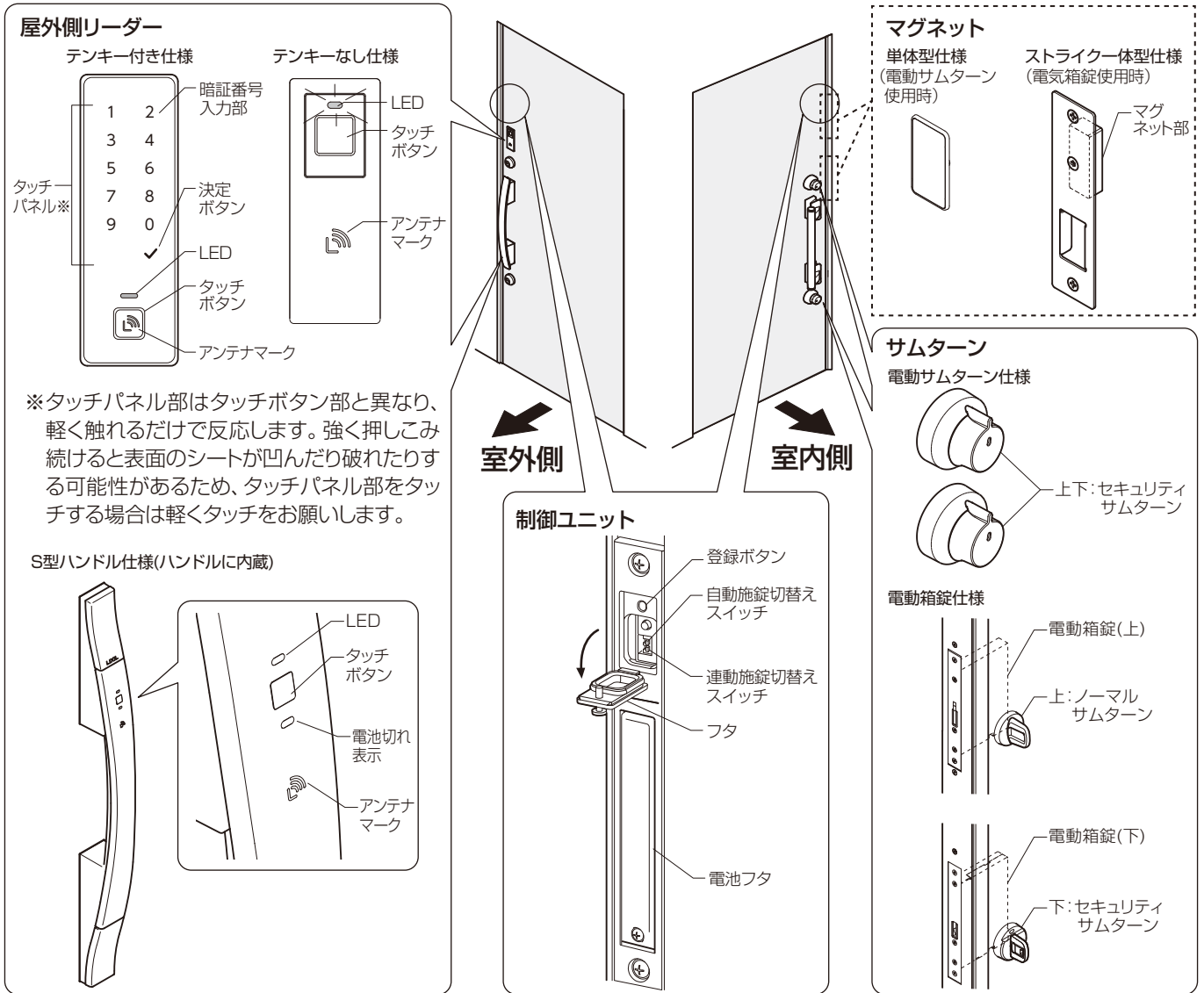
※玄関ドアには、吊元の違いにより「右吊元」「左吊元」がありますが、特別に記載が無い限り、操作に違いはありません。



1

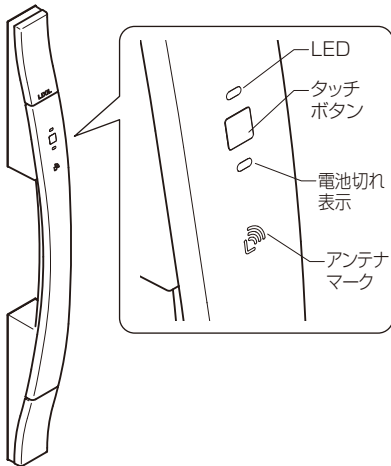
システム全体の名称

※仕様によって本体・部品の形状が異なります。実際にご使用の商品と照らし合わせてご確認ください。



※タッチパネル部はタッチボタン部と異なり、軽く触れるだけで反応します。強く押しこみ続けると表面のシートが凹んだり破れたりする可能性があるため、タッチパネル部をタッチする場合は軽くタッチをお願いします。

S型ハンドル仕様(ハンドルに内蔵)



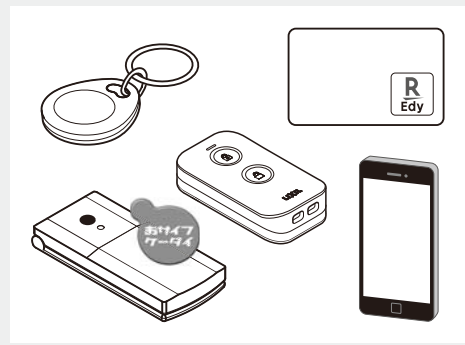
タッチボタンを押して、電動で錠の操作(施解錠)ができます。
→ (P.14・15)



電動で解錠したあと、ドアを開閉すると自動施錠するようにできます。
→ (P.14)



カードキー・タグキーのほか市販のEdyカード、おサイフケータイも同様に使用することができます。さらにスマートフォンやリモコンを登録することでワンタッチ操作など多くの便利機能が使えます。→ (P.6～9)



上のサムターンを施錠すると自動的に2ロックするようにできます。
→ (P.19)

電動で解錠したあと、閉め忘れ防止機能によりカギのかけ忘れを防止します。
→ (P.14)

不正解錠防止機能やセキュリティサムターンにより、ピッキングやガラス破り、サムターン回し対策ができます。→ (P.20)

※玄関キーを一度も登録したことがない場合、上記機能はすべて作動しません。

2

オプション品の機能一覧（できること）

オプション品	できること	関連ページ	購入先
追加カードキーブラック [Z-204-DVBA]*1 追加カードキーライトグレー [Z-205-DVBA]*1 追加タグキー [Z-251-DVBA]*1 おサイフケータイ*2 楽天 Edy カード*2 	タッチしてかざすだけで施解錠	P.14	リクシルストア/ カード 
標準キー収納リモコン [Z-311-DVBA]*1 (以後、「リモコン」と記載します) 	タッチ操作でワンタッチ施解錠 少し離れたところから遠隔操作で施解錠	P.14-15	リクシルストア/ リモコン 
スマートフォン*2 	施解錠の履歴を確認 家族の帰宅・外出をメールで通知	P.11	アプリのインストールと登録が必要です。→ (P.9) 
	登録情報確認と削除 ファームウェアのアップデート	P.12	
	操作・確認音を消音 認証エリアの調整	P.13	
	タッチ操作でワンタッチ施解錠 少し離れたところから遠隔操作で施解錠	P.14-15	
ワイヤレス屋内ボタン 	室内側から施解錠	P.17	購入方法はこちら 
テンキー付屋外リーダー 	室外側から暗証番号入力で施解錠 通常（テンキー無し仕様）屋外リーダーと同様に各種カギによる施解錠	P.16	初めに選択していただく商品です。 ※途中から追加する場合は別途工事が必要になります。 詳しくはカタログをご確認ください。

*1) 追加タグキー、追加カードキー、リモコンは追加購入いただけます。ご購入については、お近くの販売店もしくは LIXIL 公式通販サイトよりご注文いただけます。

●リクシルストア <https://store.lixil.co.jp/>

*2) おサイフケータイ、楽天 Edy カード、スマートフォンはお手持ち品を登録できます。（各機器に対して動作確認を実施しておりますが、完全な動作を保証するものではありません）

「楽天 Edy（ラクテンエディ）」は、楽天グループのプリペイド型電子マネーサービスです。

「おサイフケータイ」および「おサイフケータイ」ロゴは、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

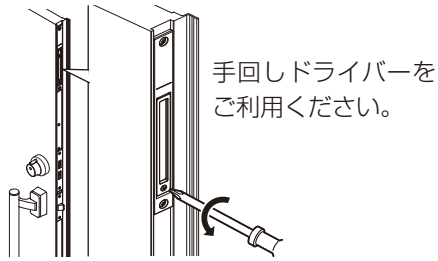
ご使用前に実施していただきたいこと

1

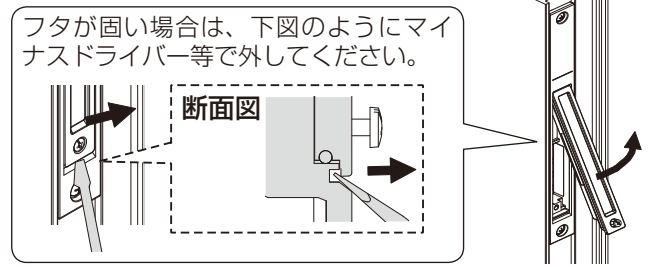
ドアに電池を入れる、交換する

●本製品はアルカリ乾電池単3形8本で作動しています。始めに次の手順で電池を入れてください。

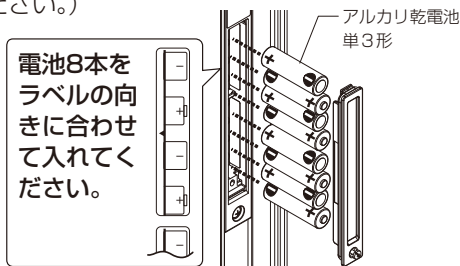
①電池フタのねじを緩めます。



②電池フタを外します。



③新品の電池8本を入れます。
(交換時は、古い電池を全て取出してから行ってください。)



④電池フタを閉め、ねじを締めます。

上部のツメをひっかけてから付けてください。






電池フタを閉めたときに『ピーー音』が鳴る場合は、電池の入れ間違いか、フタが半開きになっています。電池を入れ直してください。

※初回同梱品：パナソニック製アルカリ乾電池
交換時も同等品をご利用ください。

2

登録できる玄関キーについて

登録できる玄関キー			
	かざすタイプ	ボタン操作タイプ	
玄関キーの種類	追加カードキーブラック [Z-204-DVBA]*1 追加カードキーライトグレー [Z-205-DVBA]*1 追加タグキー [Z-251-DVBA]*1 おサイフケータイ*2 楽天 Edy カード*2 	リモコン [Z-311-DVBA]*1 	スマートフォン*2 
	以下の「カードキーを登録する」をご参照ください。	P.8「リモコンを登録する」をご参照ください。	P.9「スマートフォンを登録する」をご参照ください。
最大登録個数	合わせて10個まで登録できます。	リモコンとスマートフォンは合わせて10個まで登録できます。	

*1) カードキー、タグキー、リモコンには、オプション部品もあります。追加購入は、P.5をご参照ください。

*2) おサイフケータイ、楽天Edyカード、スマートフォンはお手持ち品を登録できます。

*3) おサイフケータイとは、おサイフケータイ機能が搭載された携帯電話のことです。

3

カードキー・タグキーを登録する※おサイフケータイ・楽天Edyの場合も同じです。

■登録の前に

登録したいカードキー・タグキー（以下、「タグキー」は省略）をすべて集めます。（すでに登録済みの分も含みます。）

※新たに登録するとすでに登録済みのカードキーのデータがすべて消去されますが、アプリにて「追加登録」設定を有効にするとデータを消去せずに追加登録することができます。

詳しくはP.13をご参照ください。

※カードキーの登録だけでは、リモコンやスマートフォンの登録データは消去されません。

【おサイフケータイの場合】

楽天Edyアプリをインストールしてください。アプリがインストールされていないと登録できません。

楽天Edyについての詳細は楽天Edy公式サイトをご確認ください。

<https://edy.rakuten.co.jp/>

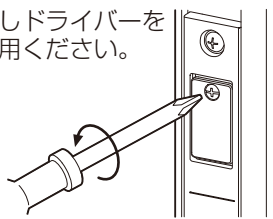


←
室外側

■登録手順

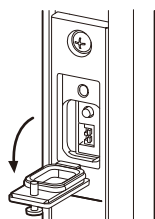
①フタのねじをゆるめます。

手回しドライバーをご利用ください。



約10回まわします。

フタを外します。



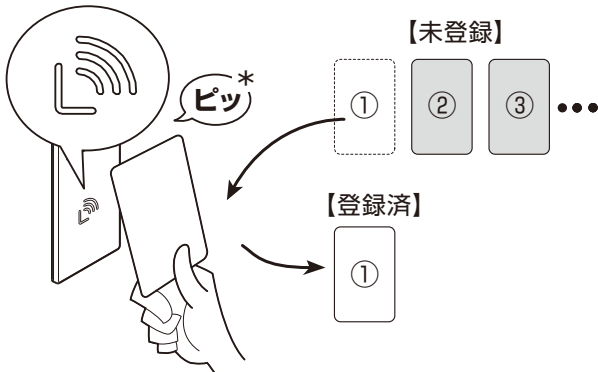
登録ボタンを1秒押し、離すと『ピー』音が鳴り、LEDが点滅し、登録モードに入ります。



②カードキー①、②、③…を順番にマークにかざし登録します。登録の都度、登録済み枚数分だけピッ音が鳴ります。

（例：1枚目「ピッ」、2枚目「ピッ、ピッ」）

※30秒以内に続けて登録してください。



※最大登録枚数は10枚です。

※続けてリモコンの登録もできますが詳しくはP.8「リモコンを登録する」をご参照ください。

※S型ハンドルの場合、マークはハンドルに付いています。

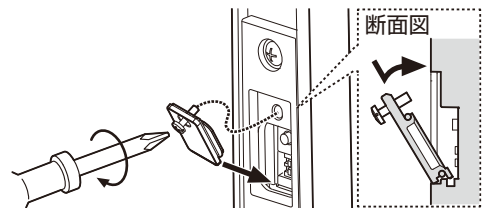
※1つのカードキーを複数のドア（無制限）に登録できます。

③約30秒待つと登録が終了し、『ピー』音の後、登録枚数分『ピッ』音が鳴ります。*1



*1) 登録済みのスマートフォンやリモコンの個数分も合わせて鳴ります。

④フタを元に戻します。



下部のツメをひっかけてからねじを締めてください。

4

リモコンの電源 ON / OFF 機能について

2つのボタン同時長押しでリモコンの電源を ON/OFF できます。

※電源をOFFにするとリモコンは使用できなくなります。しばらく使用しないときや玄関付近でリモコンを保管しなければならない場合は電源をOFFにしてください。

※電池を入れ替えた場合も電源が OFF→ONになります。

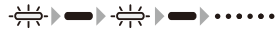


電源ONの場合(OFF→ON)
ランプが緑色に点灯(1秒間)



電源OFFの場合(ON→OFF)
ランプが緑色に点滅(5回)

ランプが緑色に点滅(5回)



5

リモコンを登録する

■登録の前に

登録したいリモコンをすべて集めます。(すでに登録済みの分も含みます。)

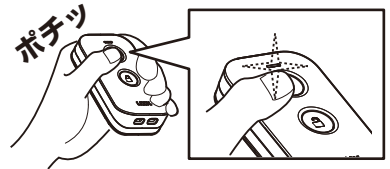
※新たに登録するとすでに登録済みのリモコンのデータがすべて消去されますが、アプリにて「追加登録」設定を有効にするとデータを消去せずに追加登録することができます。詳しくはP.13をご参照ください。

※リモコンの登録だけでは、カードキーやスマートフォンの登録データは消去されません。



リモコンのボタンを押してランプが点灯する(電源がONになっている)事を確認します。

※OFFの場合は、リモコンの電源をONにしてください。出荷時は電源がOFFになっております。

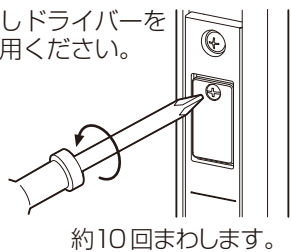


■登録手順

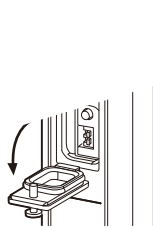
室外側

①フタのねじをゆるめます。

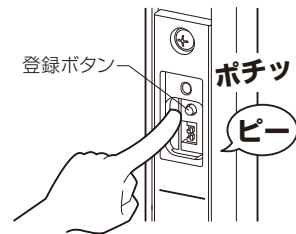
手回しドライバーをご利用ください。



フタを外します。



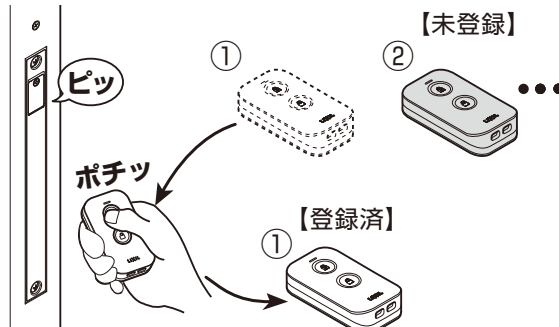
登録ボタンを1秒押し、離すと『ピー』音が鳴り、LEDが点滅し、登録モードに入ります。



②リモコン①、②…のボタンを押して登録します。登録の都度、登録個数分だけピ音が鳴ります。

(例: 1個目「ピッ」、2個目「ピッ、ピッ」)

※30秒以内に続けて登録してください。



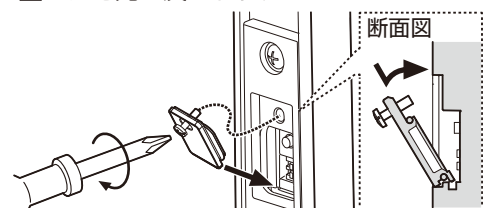
③約30秒待つと登録が終了し、『ピー』音の後、登録個数分『ピッ』音が鳴ります。*1



*1) 登録済みのスマートフォンやカードキーの個数分も合わせて鳴ります。

※最大登録個数はスマートフォンと合わせて10個です。
※続けてカードキーの登録もできます。詳しくはP.7の「カードキー、タグキーを登録する」をご参照ください。
※1つのリモコンに最大10台のドアを登録できます。11台目のドアを登録すると、リモコンからは1台目のドアの登録情報が自動的に削除されます。

④フタを元に戻します。



下部のツメをひっかけてからねじを締めてください。

6

スマートフォンを登録する（アプリのインストール）

■登録の前に

・スマートフォンへ専用アプリ「My Entrance」のインストールが必要です。

アプリのダウンロードは、下記ダウンロードサイトから行うか、「App Store」もしくは「Google Play（Playストア）」で「My Entrance」と検索してください。（類似のアプリにはご注意ください）



◀ダウンロードは、2次元コードを読み取って「玄関ドア 電気錠サポート」サイトにアクセス、FamiLock 内のアプリのダウンロードはこちらより行えます。

<https://www.lixil.co.jp/support/q/d/de02.htm>

対応スマートフォン機種一覧、FamiLock やアプリに関するお知らせもこちらから確認いただけます。

※専用アプリはアップデートにより新機能が追加されることがあります。

このため、本説明書に記載が無い新機能については「玄関ドア 電気錠サポート」サイトをご確認ください。

■登録方法

1) 事前準備

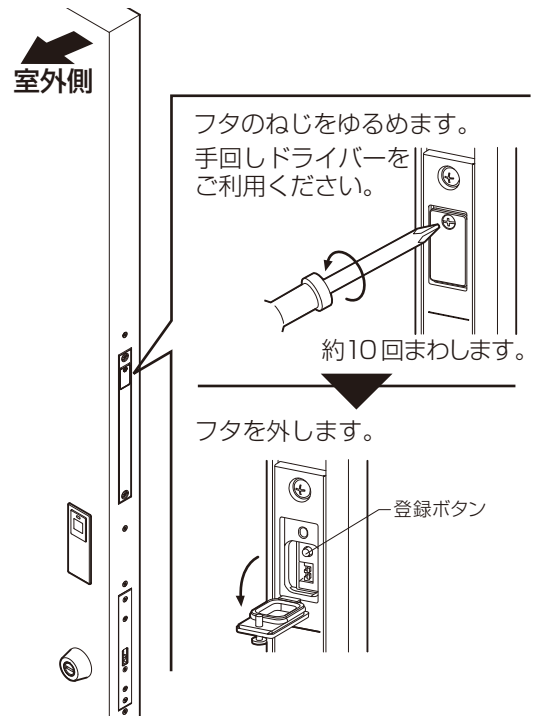
- ①スマートフォンのBluetooth®を有効にしてください。（無効状態では登録できません。）
- ②途中でドアの登録ボタンを押す必要がありますのでフタを開けておいてください。
- ③初めて登録する1台目のスマートフォンは、「ファミリーコード」を設定する必要があります。事前に「ファミリーコード」（4桁以上の数字）を決め、家族で共有してください。

ファミリーコードとは

第三者が不正に登録できないように、1台目を登録する際に設定するパスワードです。2台目以降のスマートフォンを登録する場合は1台目で設定したファミリーコードの入力が必要です。このため、ファミリーコードは家族以外など第三者には教えないようにしてください。

<ファミリーコードの確認・変更>

登録済みスマートフォンではファミリーコードを確認、変更することができます。通信エリア内でアプリの「≡メニュー→電気錠の設定→ファミリーコード」



2) 登録手順

- ①アプリ「My Entrance」を起動し、アプリ内の誘導に従って登録します。
※登録方法がわからない場合は、「玄関ドア 電気錠サポート」ページ内の説明動画をご覧ください。動画は、上記の2次元コードを読み取り、「FamiLock→操作・設定ガイド」内にあります。
- ②スマートフォンの登録完了後、30秒後に登録が終了します。
- ③2台目以降のスマートフォンの登録は続けて30秒以内に登録を開始してください。
※スマートフォンを新たに追加登録してもそれまでの登録データが消えることはありません。



My Entrance

■お知らせ

- スマートフォン登録中に5分以上経つと登録終了になります。
- 1台のドアにスマートフォン（リモコンを含む合計）は最大10個まで登録できます。ただし、1台のドアへの同時接続数（同時に使用できる数）は最大6個です。
- スマートフォンのアプリには、最大10台までドアを登録する事ができます。
- スマートフォンの機種変更やアプリのアンインストールを行った場合、ドアに登録されている古い登録データは残ったままになるため、同じ名前でも再登録するか、古い登録データの削除→(P.24)を行ってください。
- スマートフォンのバッテリーの消費を抑える機能により、バックグラウンドで作動している「My Entrance」アプリが制限され、作動しない場合があります。スマートフォン側で「My Entrance」アプリの制限が除外されるように設定してください。

※ Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、(株) LIXIL はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

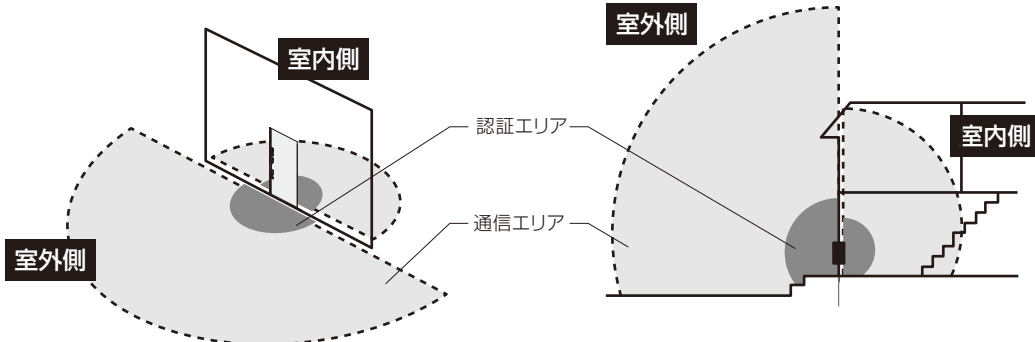
FamiLock の通信仕様

1

通信エリアと認証エリア

本製品はドアと登録済みのリモコン・スマートフォン（登録キー）の間で、Bluetooth® を使用した暗号化通信によってセキュリティを強化した相互認証を行っております。そのため、施錠に少し時間がかかってしまう反面、従来の方式よりもセキュリティ性が高くなっております。

また本紙では、ドアと通信できる範囲を「通信エリア」この「通信エリア」内で、ドアに近く電波がより強い範囲を「認証エリア」と呼称しております。各エリア内にて、できることは下記表をご確認ください。



	主にできること	距離		
		内外	スマートフォン	リモコン
通信エリア内	<ul style="list-style-type: none"> 遠隔操作 電気錠の設定 登録確認・削除 履歴の確認・更新 施錠状態の確認 	室外 約10m (最大約 40m)	約5m (最大約 15m)	約2m (最大約 5m)
認証エリア内	上記に加え ・タッチボタンによる施錠	室外 約0.8m~1.5m*1 (最大約 5m)	約0.8m~1.5m (最大約 5m)	最大約 2.5m (保管禁止距離)

※周囲の環境（障害物の有無）、スマートフォンの機種により各エリアは大きく変化するため、上記数値は保証するものではありません。特に保管禁止距離にはご注意ください。

通信エリア内で同時に使用できるスマートフォン/リモコンは6個までです。

通信エリア内に7個以上登録済みのスマートフォンがある場合通信できなくなる場合があります。

ただし、ワイヤレス屋内ボタンを登録した場合は通信エリア内で同時に使用できるスマートフォン/リモコンは1個減り、5個となります。

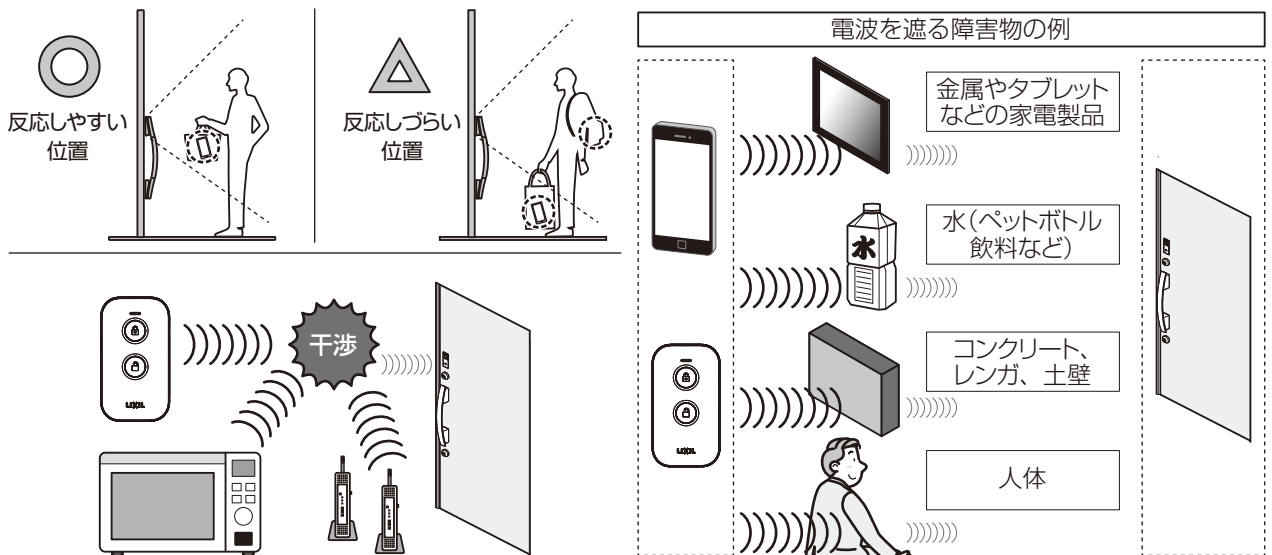
*1) スマートフォンのみ認証エリアを変更することができます。(P.13)

2

電波の特性について

電波の特性上、次の場合に通信距離が短くなったり、通信できなくなることがあります。

- ①電波（2.4GHz 帯）を使用する機器が複数ある
- ②電子レンジやディスプレイなどの電波ノイズを出す家電製品が近くにある
- ③電源ケーブルやシールドが不十分な同軸ケーブルが近くにある
- ④リモコン・スマートフォンとドアの間や認証エリア内に電波を遮る障害物がある

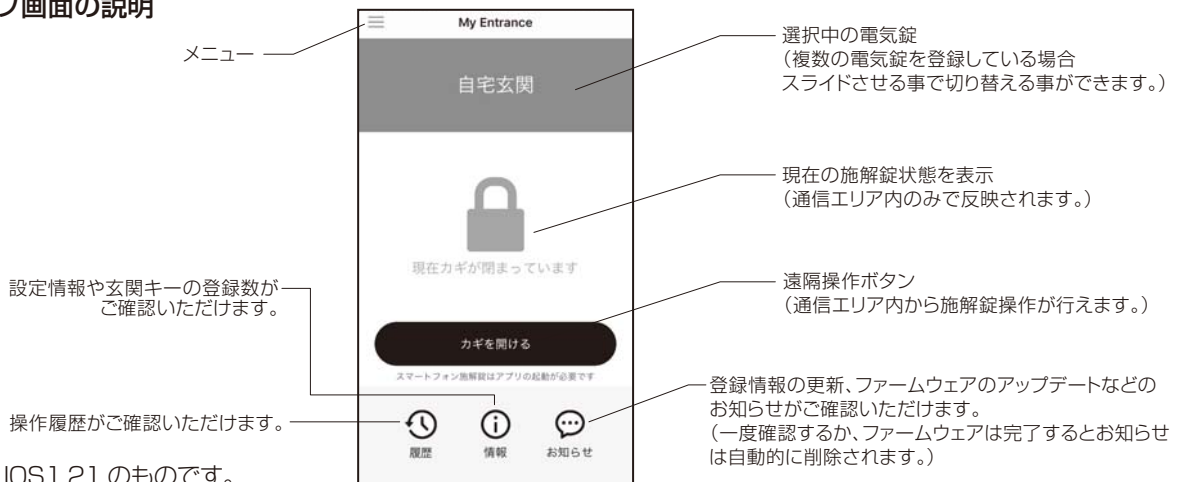


アプリの使い方

1

機能紹介

■トップ画面の説明



※画面は iOS1.21 のものです。

■履歴の確認方法

操作・設定の変更の履歴などが
ご確認いただけます。

方法

「トップ画面→履歴」から
ご確認いただけます。

「スマホ操作」
ご自身のスマートフォンを使った
操作の履歴が表示されます。
各ドアにつき最大約50件



「全ての操作」
家族を含む全ての施錠
操作の履歴が表示されます。
各ドアにつき最大約1350件

「設定変更等」
機器の登録・削除や
設定変更の履歴などが
表示されます。
各ドアにつき最大約150件

■お知らせ

履歴は以下のタイミングで更新されます。外出時など、ドアから離れた場所では履歴は更新されませんのでご注意ください。

- ・通信エリア内で履歴の確認を行った時 (各項目選択が必要)
- ・ご自身のスマートフォンで施錠を行った時 (「スマホ操作」のみ更新)

ドア本体側の電池切れなど電源の供給が無くなった場合、操作履歴や操作時刻が表示されない期間が発生します。
電源復旧後、スマートフォンと正常に通信するとそれ以降の操作時刻が表示されるようになります。

■メール通知設定の方法

家族が帰宅・外出時にスマートフォンで施錠を行うと、
メールでお知らせします。

方法

「≡メニュー→メール通知設定」から設定いただけます。



「送信するメールアドレス」
Gmailのアカウントを設定し
ます。(メール送信元)
※Gmail以外は設定できません。

「対象の電気錠」
解錠時のメールの宛先を設定
します。
最大5件まで登録できます。

「施錠時メール」
OFF の場合: 解錠時のみメール通知します。
ON の場合: 施錠時および解錠時にメール通知します。
宛先が1件も登録されていないと設定を変更できません。

■お知らせ

- ・登録されたスマートフォン以外での施錠操作はメール通知されません。
- ・別途 Gmail のアカウントの取得が必要です。
- ・施錠時のみのメール通知は行えません。(解錠時または施錠時に通知)
- ・施錠操作する側のスマートフォンにて設定が必要です。
例: お子さまの施錠操作をメールで通知する場合
お子さまのスマートフォンにて設定が必要です。

〈設定を行う側〉



※受信側ではメール通知設定を行う必要はございません。

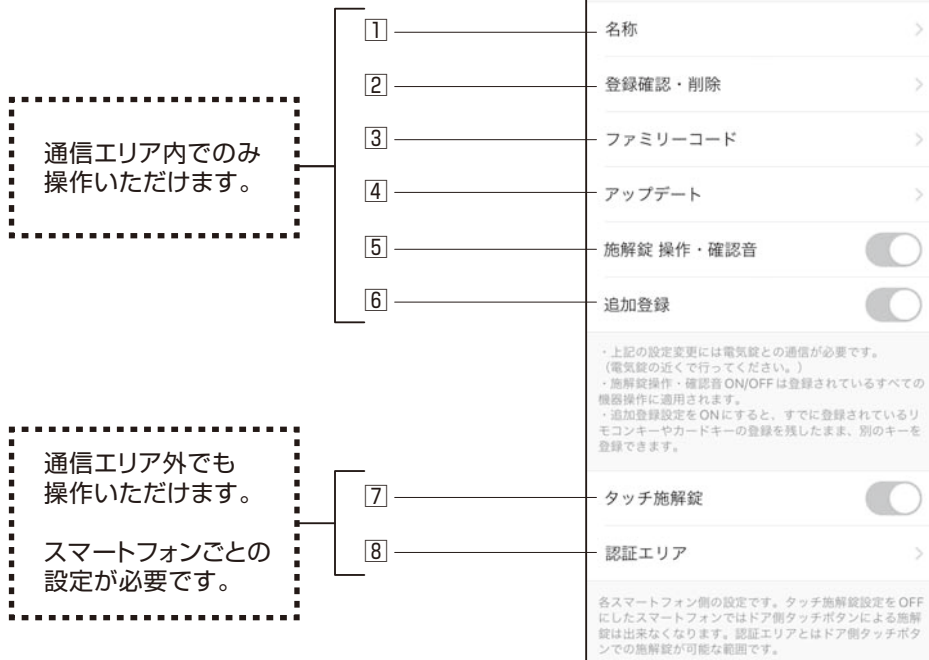
2

電気錠の設定方法

「電気錠の設定」から設定の確認・変更、登録の削除などが行えます。

方法

「≡メニュー→電気錠の設定」からご確認いただけます。



1 名称

現在登録している電気錠（自宅玄関など）と、あなたの名前（お父さんなど）を確認・変更ができます。ここでの名称がスマートフォン内や操作履歴などに表示されます。

■お知らせ

・設定内の「この電気錠を使用するあなたの名前」は、他のスマートフォンと同一名称は設定できません。

2 登録確認・削除

ご自身のスマートフォン以外のカードキーやリモコンを含む登録数の確認・削除ができます。削除の方法は P.25 「アプリから削除する」を参照ください。

3 ファミリーコード

ファミリーコードの確認・変更ができます。電気錠にスマートフォンを登録する際に必要です。登録している全てのスマホを紛失するなどファミリーコードが確認できない場合、P.25 「すべての登録データを削除する」で登録データと共に初期化できます。

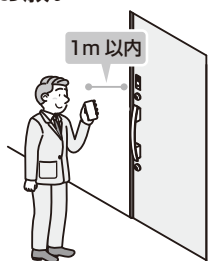
4 アップデート

電気錠本体側のファームウェア（ドア側の制御プログラム）のアップデートを行います。トップ画面の「お知らせ」にアップデートの更新ができましたらここから本体のアップデートの更新を行ってください。またアプリ側もストアより常に最新版へ更新してください。

方法

スマートフォンを持ってドアへ近づきアップデートを実行してください。

■お願い



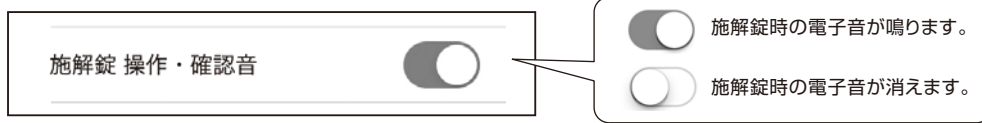
アップデートが完了するまでの間、電気錠とスマートフォンの距離を 1m以内に保ってください。

〈所用時間の目安〉
5分～15分

アップデート実行中は、電気錠の操作をすることができません。(手動での施錠は可能です。)

⑤施解錠操作・確認音

施解錠操作時の操作音・確認音などの電子音は ON /OFF する事ができます。

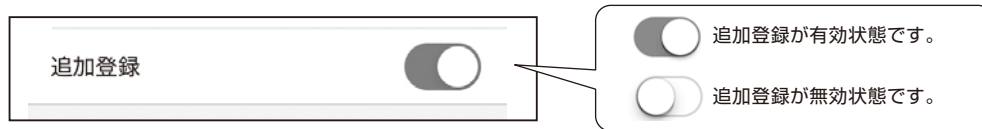


■お知らせ

- ・施解錠以外の操作・確認音は変更できません。
- ・モータ音等の作動音は消すことができません。
- ・ご家族のスマートフォン、リモコン、カードキーなど全ての電気錠の操作に反映されます。

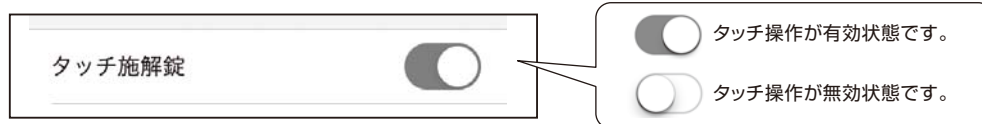
⑥追加登録

スマートフォン以外の登録キーは新規登録を実施すると登録済みのデータを消去した上で登録しますが、本設定を有効にすることにより登録済みデータを消去せずに追加登録が可能になります。



⑦タッチ施解錠

タッチボタン操作による施解錠の操作を有効 / 無効を切り替える事ができます。しばらく使用しないときや玄関付近で保管しなければならない場合などに無効にしてください。

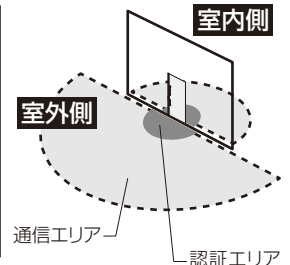
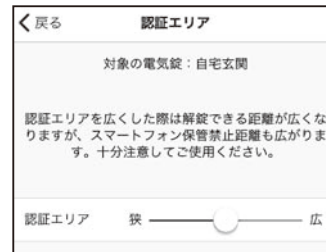


⑧認証エリア

スマートフォンのみ認証エリアを変更する事ができます。認証エリアを調整したい場合にご使用ください。

■お知らせ

- ・認証エリアを広くした際は解錠できる距離が長くなり、スマートフォン保管禁止距離も広がります。不正解錠されないよう十分注意してご使用ください。
- ・通信エリアの変更はできません。
- ・設定変更したスマートフォンのみ認証エリアが変わります。



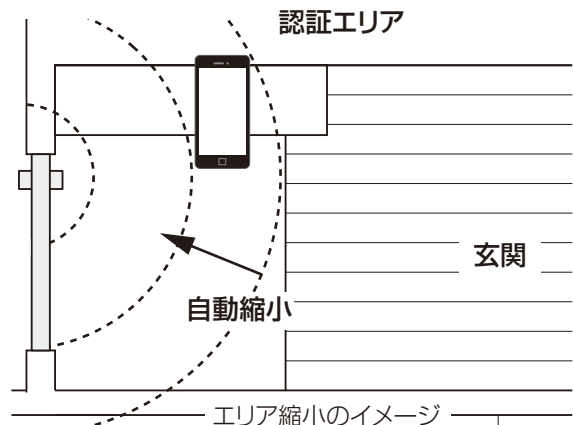
3

「セキュリティエリアコントロール」機能

防犯のため、認証エリア内にスマートフォンがあると3分ごとに認証エリアを段階的に2回自動縮小します。2回縮小後もスマートフォンが認証エリア内にある場合、アプリに通知が来ます。

■解除方法

- ・対象のスマートフォンで施解錠を行う
 - ・ドア（電気錠）との通信が切れた場合
- <例>
- ・通信エリアから外へ移動した場合
 - ・スマートフォンを再起動（アプリの再起動含む）した場合
 - ・スマートフォンの Bluetooth® 機能を OFF にした場合 など



■お知らせ


- ・スマートフォンごとに作動します。その他のスマートフォンやリモコンの認証エリアは変わりません。
- ・この機能は OFF にする事はできません。

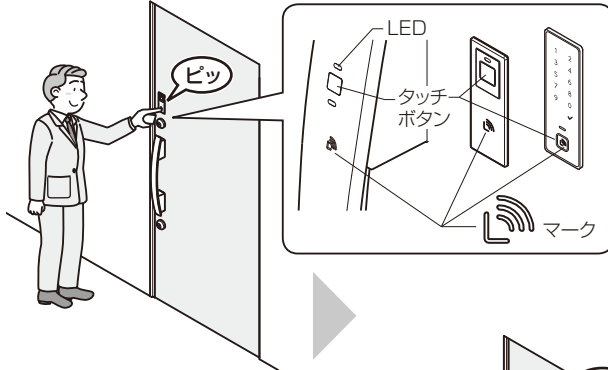
使い方

1

タッチボタンで解錠する

【カードキー・タグキーの場合】

タッチボタンを押し、カードキーまたはタグキーを「」マークにかざします。



ドアを開けます。



自動施錠 ON の場合

閉まると自動施錠します。



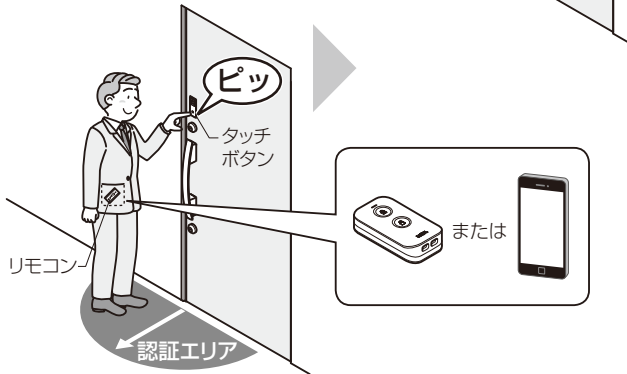
自動施錠 OFF の場合

閉まっても自動施錠しません。施錠してください。



【リモコン・スマートフォンの場合】

リモコンまたはスマートフォンを携帯し、タッチボタンを押します。

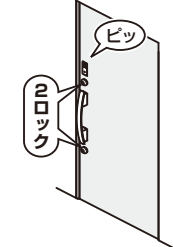


ドアは閉めたまま。




閉め忘れ防止機能

30秒後に自動施錠します。

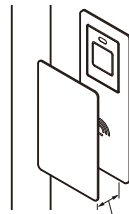


【カードキー・タグキーの場合】

タッチボタンを押すと最大 5 秒間、認証モードになります。カードキー・タグキーは認証モード中に図のように「」マークにかざしてください。

※反応距離は、カードや携帯電話の種類により、異なります。

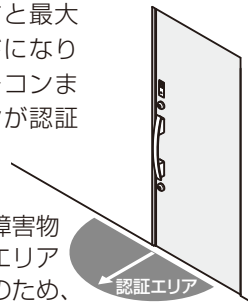
20mm以内(※)




【リモコン・スマートフォンの場合】

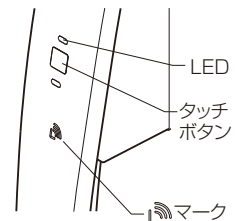
タッチボタンを押すと最大 5 秒間、認証モードになります。この間にリモコンまたはスマートフォンが認証エリア内にあると施錠します。

※周囲の電波環境や障害物の有無により認証エリアは変化します。このため、実際の認証エリアはきれいな球体ではありません。



【S型ハンドルの場合】

「」マーク、タッチボタン、LED は、ハンドルに付いています。



■お知らせ

スマートフォンは以下の状態の場合、ドアと通信ができず、作動しませんのでご注意ください。


- ・アプリが起動していない場合 (バックグラウンドでの起動は可)
- ・Bluetooth® が有効でない場合
- ・スマートフォンの電源が OFF の時や電池切れの場合



2

タッチボタンで施錠する

【カードキー・タグキーの場合】

タッチボタンを押し、カードキーまたはタグキーを「」マークにかざします。

【リモコン・スマートフォンの場合】

リモコンまたはスマートフォンを携帯し、タッチボタンを押します。



ドアの状態を LED と音でお知らせします。

	施錠時	解錠時
ブザー音	ピッ	ピッ
LED	緑色点灯 1秒後に消灯	赤色点灯 1秒後に消灯

■お知らせ

本リモコンは Bluetooth® を用いてドア本体と通信しています。リモコンはボタンを押してから接続を開始するためスマートフォンに比べ施解錠動作が 1 秒遅くなりますが故障ではありません。

3

遠隔操作で施解錠する

スマートフォンの操作やリモコンのボタン操作で通信エリア内から施解錠することができます。

※解錠後の動作は、タッチボタンで解錠したときと同じです。

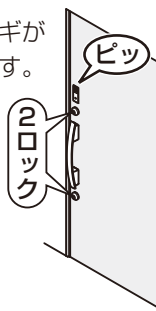
【リモコンの場合】

■施錠する場合

リモコンの「施錠マーク」のボタンを押します。



2つのカギが施錠します。

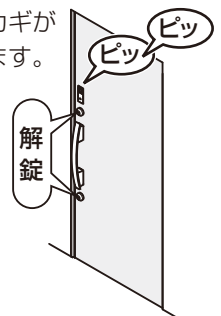


■解錠する場合

リモコンの「解錠マーク」のボタンを押します。



2つのカギが解錠します。



※通信エリアが重なる複数のドアに同じリモコンを登録した場合、リモコンのボタンを押しての遠隔操作が正常に作動しないことがあります。

【スマートフォンの場合（施解錠する場合）】

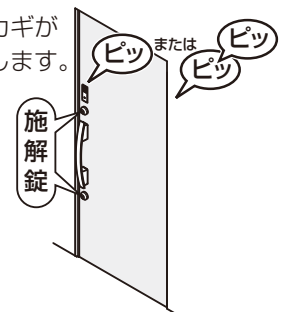
アプリを立ち上げてトップ画面を開きます。



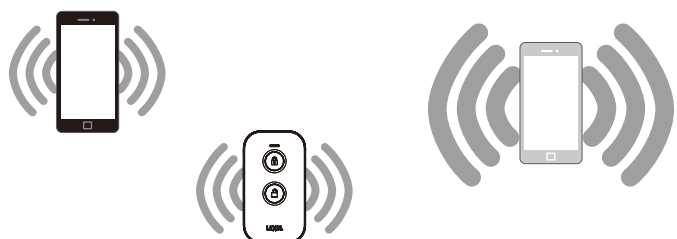
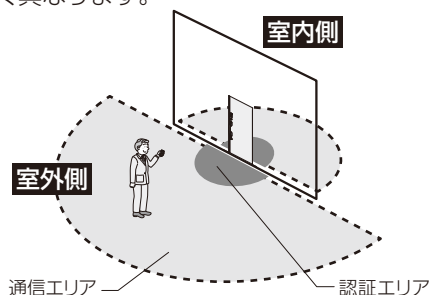
操作ボタンをタッチします。



2つのカギが施解錠します。



※遠隔操作ができる通信エリアは、室外側が広く、室内側は狭くなります。また、スマートフォンは機種によって範囲が大きく異なります。



4

テンキー入力にて施錠したい

テンキー付き屋外リーダーに暗証番号を入力して施錠できます。
暗証番号の設定は P.22 「テンキー付き屋外リーダーの暗証番号登録方法」を参照ください。
※テンキー付き屋外リーダーの操作方法動画は右記の2次元コードからご確認ください。



■テンキーのご利用開始前に

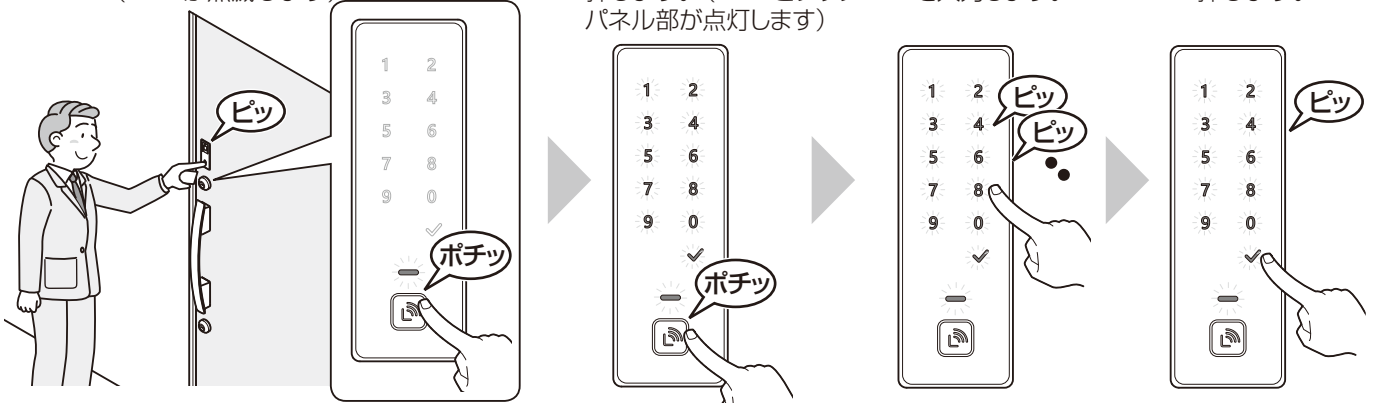
・利用開始前の傷保護のために製品の表面に保護フィルムが張付けてあります。利用開始時にははがしてからご使用ください。

①タッチボタンを押します。
(LED が点滅します)

②タッチボタンをもう一度
押します。(LED とタッチ
パネル部が点灯します)

③暗証番号(4~8ケタ)
を入力します。

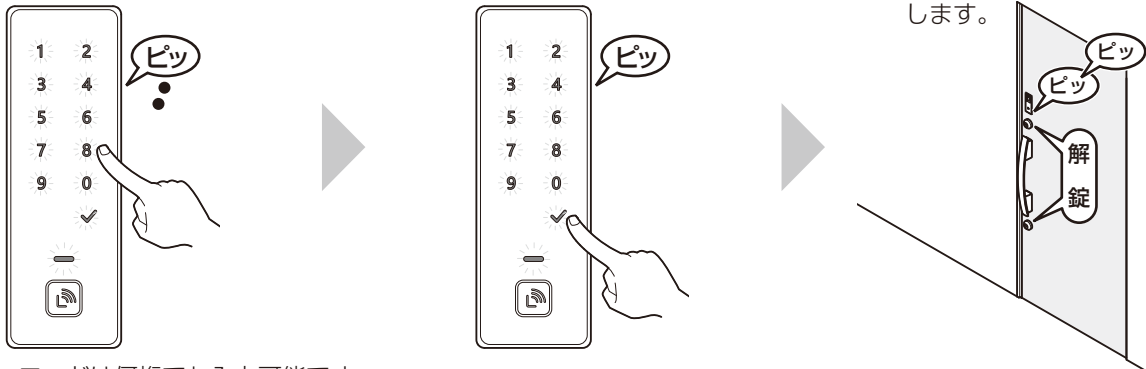
④決定ボタンを
押します。



⑤ダミーコードを入力します。
※ダミーコード入力 ON の場合

⑥決定ボタンを押します。
※ダミーコード入力 ON の場合

⑦解錠します。
※解錠状態の場合は施錠
します。



※ダミーコードは何桁でも入力可能です。

※暗証番号入力部と決定ボタンはタッチされたことを認識するとブザーの鳴動と共に一瞬消灯します。
(ブザー音は設定により ON/OFF が可能です)

※ブザー音・LED 色は各動作に応じて変わります。

(解錠完了時：LED 赤色点灯、ブザー音「ピッピッ」、施錠完了時：解錠時：LED 緑色点灯、ブザー音「ピッ」、
暗証番号認証失敗時：LED 点滅(施錠中：緑、解錠中：赤)ブザー音「ピー」)

■ダミーコード機能とは

解錠操作時の指の動きや残ってしまう指紋から、暗証番号を割り出されないにするため、
暗証番号とは別の追加のコード(ダミーコード)を押して防犯性を向上させる機能です。

※よりセキュリティを強固にするために本設定は ON にすることを推奨しております。

(出荷時の設定は ON)



■テンキー入力での施錠時の注意事項

・暗証番号の入力時間はテンキーの LED が点灯してから 20 秒間です。20 秒を過ぎてしまうと暗証番号の入力
モードが終了してしまうので再度上記手順の①から操作をお願いします。

・暗証番号入力を 5 回連続で失敗した場合エラーコードを表示し、いたずら防止を目的として 5 分間暗証番号入力が
不可の状態となります。

※暗証番号入力以外での施錠方法は有効のままです。

・認証範囲内にスマートフォンやリモコンがある場合、タッチボタンを 1 度押すと解錠します。

・暗証番号入力時、初回のタッチボタン押下から 5 秒以降に再度タッチボタンを押下すると LED が消灯し暗証番号
入力モードから認証モードに遷移します。

・誤った暗証番号を入力してしまった場合は、決定ボタンを押してから再度上記手順の①から操作をお願いします。

・電源投入後または登録モード終了後、一定時間テンキー入力モードへ移行できない時間が存在します。電源投入後
または登録モード終了後は 4 秒程度待つてから操作を実施してください。

5

ワイヤレス屋内ボタンから施解錠したい

■操作方法

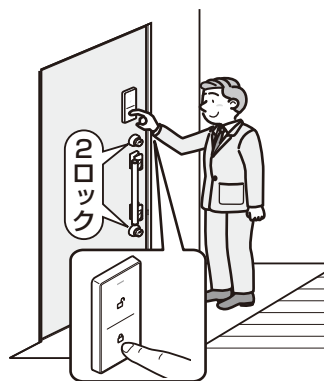
屋内ボタンのボタン操作により施解錠操作が可能です。
ボタンを押した際にランプが緑色に点灯します。(施解錠状態はランプへ反映されません)
※ワイヤレス屋内ボタンの操作方法動画は右記の2次元コードからご確認ください。



【施錠する場合】

屋内ボタンの「施錠マーク」のボタンを押します。

▶ 2つのカギが施錠します。



【解錠する場合】

屋内ボタンの「解錠マーク」のボタンを押します。

▶ 2つのカギが解錠します。



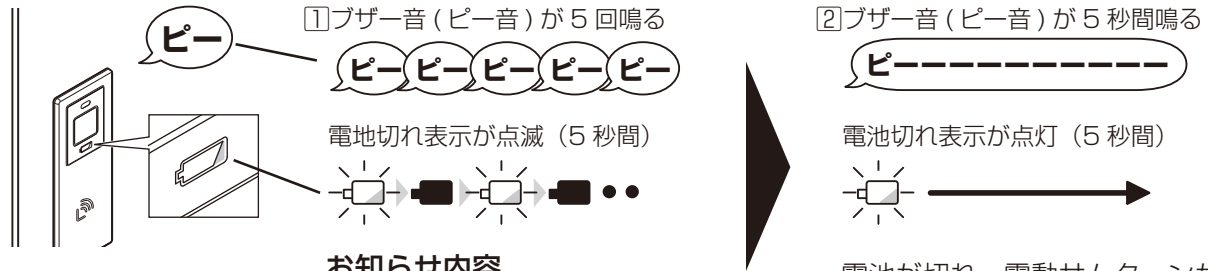
■お知らせ

- 自動施錠「ON」の場合、ワイヤレス屋内ボタンによる解錠後にドアの開閉で自動施錠するため、必ずカギを携帯した状態で外出をお願いします。ワイヤレス屋内ボタンによる解錠後にカギを携帯していない状態で外出した場合、外に閉め出されるおそれがあります。
- ワイヤレス屋内ボタンは Bluetooth® を用いてドア本体と通信しています。ワイヤレス屋内ボタンはボタンを押してから接続を開始するためスマートフォンに比べ施解錠動作が 1 秒遅くなりますが故障ではありません。
- ボタン操作後に電波環境に合わせて電波感度の調整を実施する場合があります。ボタン操作から約 6 秒後に LED 点灯があった場合は点灯色に応じて下記の対応をお願いします。
 - ・緑 / 赤色：感度調整を実施したため、施解錠操作をする場合はもう一度ボタン操作をお願いします。
 - ・橙色：電波環境に異常があります。ドアとの間に電波を遮蔽するようなものがないかご確認ください。

6

電池交換の時期を知りたい

- ・電池寿命は、1日10回のご使用で約1年です。(使用状況や環境によって、期間は前後します)
- ・電池寿命となり、交換が必要になりましたら操作時に次の内容にてお伝えします。

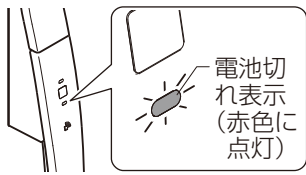


お知らせ内容

電池が少なくなってきました。
電池を交換してください。

電池が切れ、電動サムターンが
回らなくなりました。すぐに電
池を交換してください。

[S型ハンドルの場合]



■お知らせ

※電池切れになると施解錠できなくなります。電池切れ表示が点滅してから電池切れになるまで数十回操作できますが表示が点灯しましたら速やかに電池を交換してください。

※電池の交換方法はP.6「ドアに電池を入れる、交換する」を参照ください。

■電池交換時のお願い

使い切った電池はすぐに機器から取出してください。

使い切った電池をそのまま入れておくとも電気錠を使用しなくても電池から液モレすることがあります。また、カードキーを使わない場合も電池を機器から取りはずしてください。

アルカリ乾電池単3形をご使用ください。

アルカリ乾電池以外(充電式電池など)を使用されますと電池寿命が短くなったり、急に電池切れになることがあります。

8本とも全て同じ銘柄で新品の電池に交換してください。

1本だけ古い電池のままだったり、種類の異なる電池を混ぜて使用すると電池の液モレや発熱することがあります。

電池に水分や汚れ、キズが付かないようにしてください。

接点部分が腐食し接触不良の原因や液モレの原因になることがあります。

電池交換時期(→P.18)になりましたら、電池を交換してください。

電池切れにより、施解錠の途中でサムターンが止まると手動での施解錠が固くなる場合があります。この場合は、電池を交換し、電気錠による操作を行うと復帰します。
なお、固くなった状態でのサムターンやシリンダーを手で回しても故障することはありません。



電池交換は手動で解錠してから行ってください。

意図せずドアが閉まり、閉め出されるおそれがあります。

電池から漏れた液が機器に付着し、拭き取れない場合は、機器の故障につながりますので、使用を中止し、商品をお求めの施工店、工務店、販売店またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。

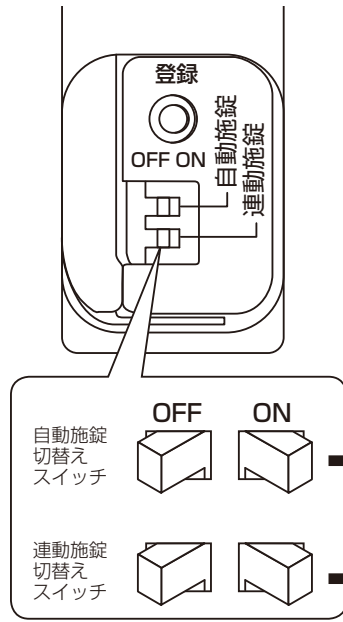
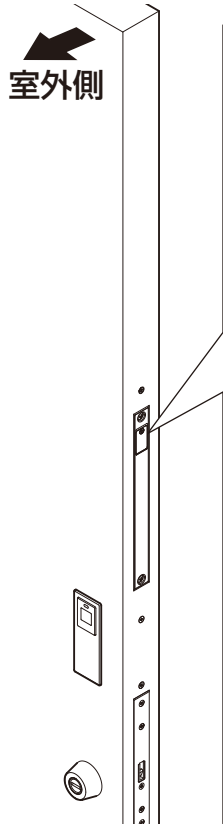
■電池の特性について

- 電池は、冷えると電圧が低下する特性があります。このため、冬季など気温が低下し電池が冷えると、電池の交換時期をお知らせするブザー音や表示が出ることがあります。ただし、気温が上がるなどして、電池の温度が上がると交換時期のお知らせはでなくなる場合があります。交換時期のお知らせが続く場合は、電池の消耗が考えられますので電池を交換してください。
- 極端に気温が低下した場合や指定外の電池を使用された場合は、電池交換のお知らせなく、急に電池切れとなり作動しなくなることがあります。
- 同梱の電池は作動確認用のため、寿命が短い場合があります。
- ドアの電池寿命に近づくと、サムターンが遅くなりますが異常ではありません。



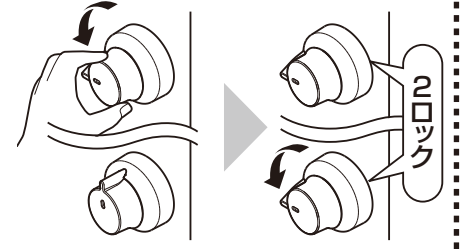
7

自動施錠と連動施錠の切替え



自動施錠 ON の場合
電氣的に解錠後にドアの開閉で自動施錠します。詳しくは P.14 をご参照ください。

連動施錠 ON の場合
手で上のサムターン (またはシリンダー) を施錠します。下のサムターンが自動的に施錠し、2ロックになります。



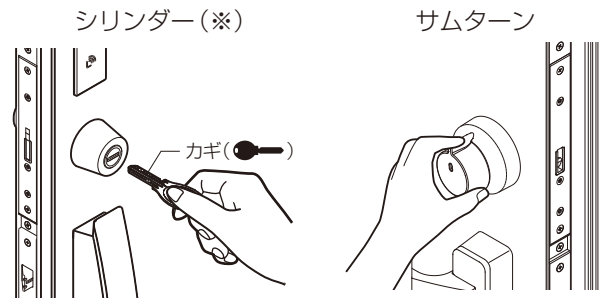
※下サムターンを施錠しても連動施錠の機能は動きません。
※解錠時は、連動しません。
※サムターンのデザインは上記と異なる場合があります。

※スイッチを操作しにくい場合は、爪楊枝などを利用して優しく操作してください。スイッチが折れてしまう場合があります。
※玄関キーを一度も登録したことがない場合、上記機能はすべて作動しません。

8

シリンダーやサムターンから施解錠したい

シリンダー、サムターンを手で回し施解錠できます。この場合、自動施錠の ON・OFF に関わらず自動施錠しません。
※閉め忘れ防止機能も動きませんのでご注意ください。
※不正解錠防止機能 (P.20) は動きます。



※ S 型ハンドルの場合は、シリンダーカバーを外してからカギ (●) を挿入し手で回して施解錠します。

■シリンダーカバーの外し方

シリンダーカバーのハンドルに近い部分をつまんで引っ張ると外れます。(下部も同様です)

※シリンダー (カバーの取外し) は多用しないでください。カバーが外れやすくなる場合があります。

■サムターンの向きと表示

電動サムターン仕様

電気箱錠仕様

※サムターンのデザインは上記と異なる場合があります。

※施解錠操作時はサムターンを確実に 90° 回してください。開戸できなかつたり、閉戸時に意図せずサムターンが回り施錠してしまう場合があります。

9

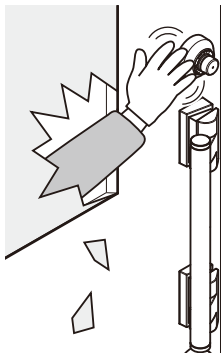
防犯機能について知りたい

■不正解錠防止機能

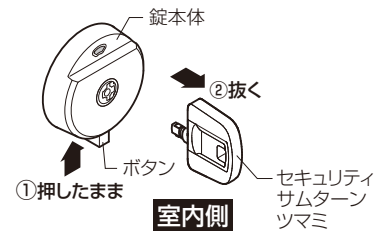
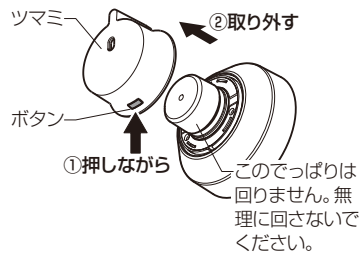


1つめのカギが不正に開けられても20秒以内に2つめのカギを開けなければ自動的にカギが再ロックされ不正解錠を防止します。
※この機能は正しい操作のときも働きます。2つめのカギは20秒以内に解錠してください。

■セキュリティサムターン



ツマミの取り外しは、ボタンを押しながら行ってください。



サムターンのツマミを取外せますので、外出時に2個とも外しておけば、ガラス破りなどによる不正な操作を防げます。
※外したツマミは保管場所を決め、ご使用する方全員が分かるようにしてください。

ご使用上の注意事項について

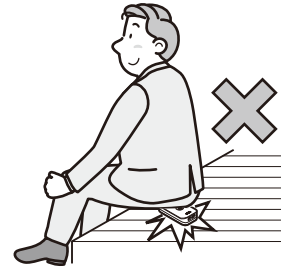
＜ご使用上の注意事項＞

- ドアが閉まりきらないなどにより施錠できない場合や自動施錠を OFF にしている場合など、カギをかけ忘れたまま、外出することがないように、LED やブザー音などで施錠したことをご確認ください。
- 自動施錠 ON の場合、電気錠で解錠した後は自動施錠されますので、帰宅時など、荷物と一緒に玄関キーを室内に置いて、もう一度外に出ないようにしてください。ドアが閉まり自動施錠され、外に閉め出されるおそれがあります。



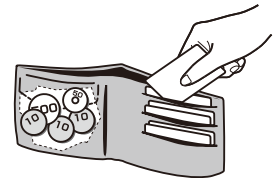
＜リモコンの取扱い＞

- 電池は、冷えると電圧が低下する特性があります。このため、冬季など、気温が低下した際は、一時的に電池切れになりますが温度が上がると使用できるようになる場合があります。
- リモコンに強い力を加えないでください。意図せずボタンが押され、勝手に施解錠する場合があります。



＜カードキー・タグキーの取扱い＞

- 常にカードケースに入れておくなど、カード内部の電子部品が破損しないように大切にしてください。
- カードキー、タグキーが利用できない場合がありますので次の内容についてご注意ください。
 - ・ 複数の非接触型 IC カードと一緒にかさした場合。
 - ・ 小銭などの金属が入った財布に入れてかさした場合。
 - ・ 通信中の無線通信機器と一緒にかさした場合。
- カードキー、タグキーの中に入っている電子部品が故障することがありますので、以下の使用方法をお守りください。
 - ・ ポケットやバッグの中などに入れて湾曲をくり返すことや折り曲げたりしないでください。
 - ・ 窓際や車のダッシュボードの上など高温となる場所に置かないでください。
 - ・ 穴を開けたり、キズを付けたり表面がへこむほどの衝撃を加えないでください。



テンキー付き屋外リーダーの機能設定・暗証番号登録方法

暗証番号登録では、暗証番号登録前に操作音やダミーコード入力等の有無を切り替えられる機能設定が可能です。

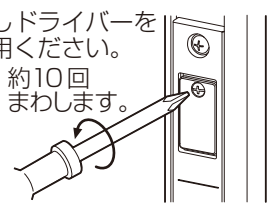
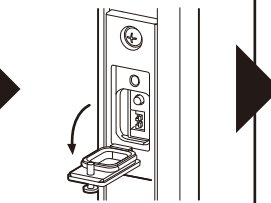

■登録手順

室外側

①フタのねじをゆるめます。
手回しドライバーをご利用ください。
約10回まわします。

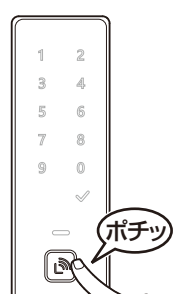
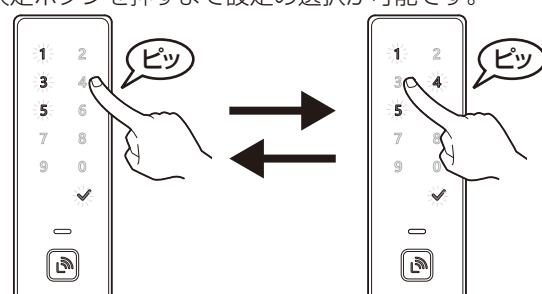
フタを外します。

登録ボタンを1秒押し、離します。

②タッチボタンを1回押します。

③使用する機能を設定します。
※決定ボタンを押すまで設定の選択が可能です。

■設定モード時 ボタン情報

- ・暗証番号 1:有効 2:無効
- ・操作音 3:有効 4:無効
- ・ダミーコード 5:有効 6:無効

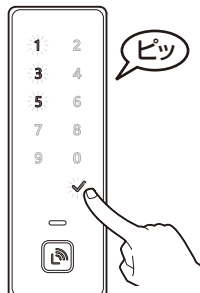

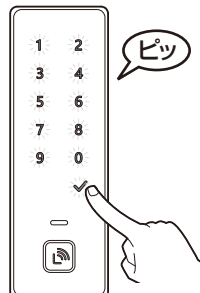
※出荷設定: 全て有効

※操作音設定はタッチパネルの操作音のみの設定

④決定ボタンを押します。

⑤登録する暗証番号を入力します。(4~8ケタ)

⑥決定ボタンを押します。

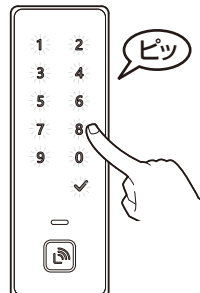
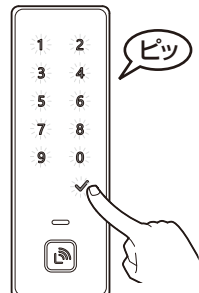
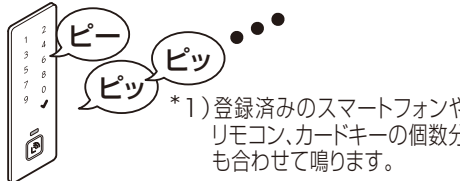

⑦同じ暗証番号を再度入力します。(2回目)

⑧決定ボタンを押すと登録完了です。引き続きその他のカギを登録することが可能です。

⑨約30秒待つと登録モードが終了し、「ピー」音の後、登録個数分「ピー」音が鳴ります。*1

*1) 登録済みのスマートフォンやリモコン、カードキーの個数分も合わせて鳴ります。

⑩フタを元に戻します。
下部のツメをひっかけてからねじを締めてください。

■お知らせ

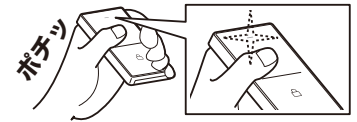
- ・登録できる暗証番号は1種類です。
- ・登録した暗証番号はMyEntranceアプリを含み確認できる方法がありません。暗証番号を忘れてしまった場合は、暗証番号の再登録をお願いします。
- ・容易な暗証番号の特定を防ぐため、登録時に全桁同じ番号の場合(1111等)はエラーとなります。また「1234」などの容易な番号や、ご自身の誕生日などの特定されやすい番号も極力避けるようにお願いします。
- ・③の設定モード時に暗証番号設定を無効にして決定ボタンを押した場合、手順の④~⑧は行われず「6」を表示して暗証番号登録モードを終了します。
- ・暗証番号登録操作中は他のカギの登録ができません。またスマートフォン登録操作中は暗証番号登録が開始できません。
- ・よりセキュリティ性を強固にするためダミーコード設定は有効を推奨します。

ワイヤレス屋内ボタンの登録方法

■登録の前に

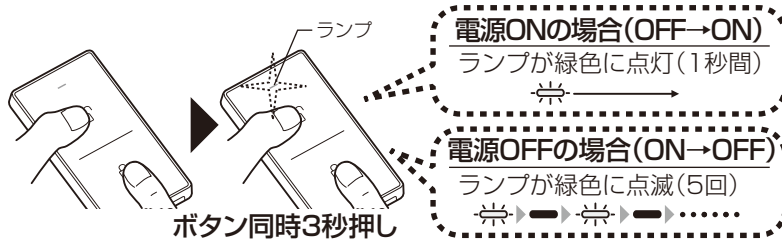
登録したい屋内ボタンを用意します。
 ※1つのドアにつき1台の屋内ボタンが登録可能です。
 ※屋内ボタンを登録することによって他の登録キーの情報は消去されません。

屋内ボタンを押してランプが点灯する(電源がONになっている)事を確認します。
 ※OFFの場合は、屋内ボタンの電源をONにしてください。出荷時は電源がOFFになっております。



■2つのボタン同時3秒押しでリモコンの電源をON/OFFできます。

※電源をOFFにすると屋内ボタンは使用できなくなります。しばらく使用しないときは電源をOFFにしてください。
 ※電池を入れ替えた場合も電源がOFF→ONになります。



■登録手順

室外側

①フタのねじをゆるめます。手回しドライバーをご利用ください。約10回まわします。

フタを外します。

登録ボタンを1秒押し離すと『ピー』音が鳴り、LEDが点滅し、登録モードに入ります。

②屋内ボタンのボタンを押し、登録します。

③約30秒待つと登録モードが終了し、『ピー』音の後、登録個数分『ピッ』音が鳴ります。*2

④フタを元に戻します。

下部のツメをひっかけてからねじを締めてください。

ポチッ

ピー

ピー

ピッ

ピッ

ピッ

ピッ

ピッ

ピッ

ピッ

断面図

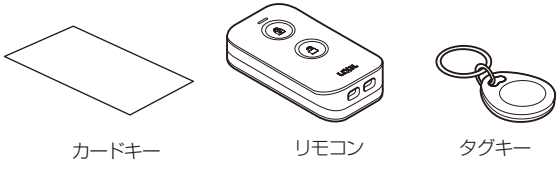
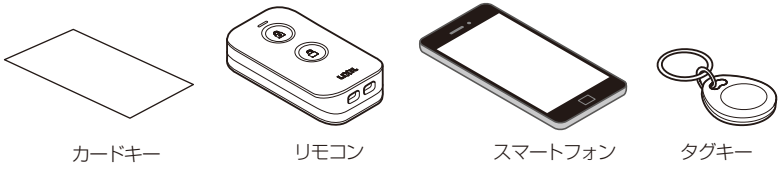
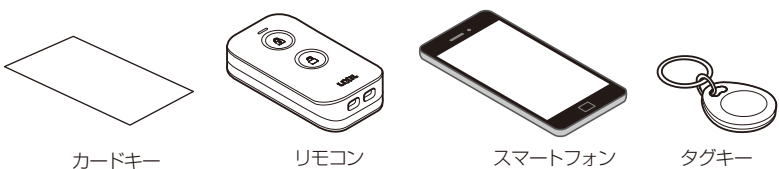
*1)登録されると『ピッ音』がなります。
 ※最大登録個数は1個です。
 ※本製品を登録してもリモコンやその他のカギの登録情報は削除されません。

*2)登録済みのスマートフォンやリモコン、カードキーの個数分鳴ります。(屋内ボタン分は含みません。)

上記手順で登録完了後、屋内ボタンより施解錠操作が可能になります。ドアとの通信性を確認し、屋内ボタンを設置しご利用ください。
 ※詳細は屋内ボタンに同梱の「ワイヤレス屋内ボタン取付け・取扱い説明書」を参照ください。

登録データの削除

■カードキー、リモコン、スマートフォン、タグキーの登録を削除したい

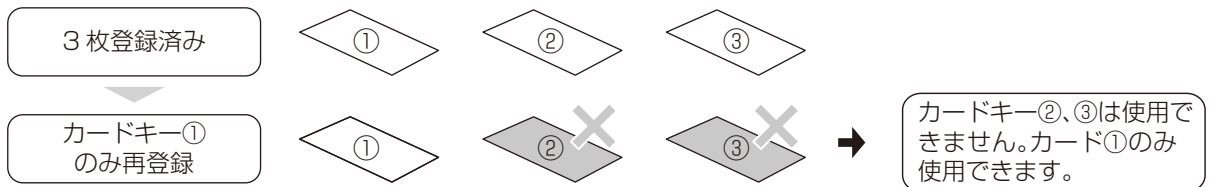
削除方法	対象	参照ページ
上書きによる削除	 カードキー リモコン タグキー	1 (P.24)
アプリから削除	 カードキー リモコン スマートフォン タグキー	2 (P.25)
全ての登録データを削除	 カードキー リモコン スマートフォン タグキー	3 (P.25)

1

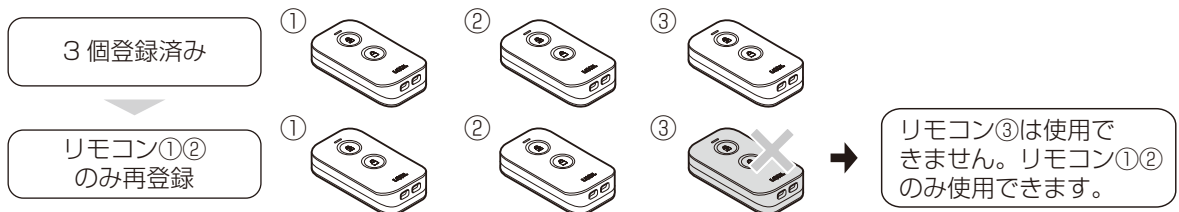
上書きによる削除方法

登録を削除したいカードキー・タグキーまたはリモコン以外で再登録してください。
 (登録方法は P.7「カードキー・タグキーを登録する」、P.8「リモコンを登録する」を参照)
 追加登録が無効状態で新たに1つでも登録すると、同じ種類の玄関キーの登録データはすべて削除されます。
 ※登録ボタンを押して、何も登録せず終了になった場合は、元の登録状態のままです。

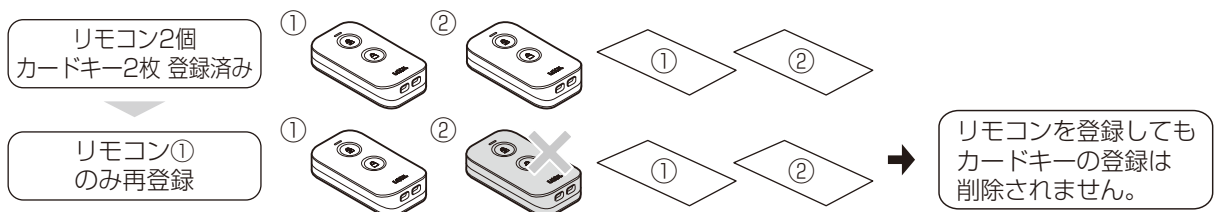
(例) カードキー 3 枚がすでに登録済みの場合※タグキーの場合も同じです。



(例) リモコン 3 個がすでに登録済みの場合



(例) リモコン 2 個、カードキー 2 枚がすでに登録済みの場合※タグキーの場合も同じです。



2

アプリから削除する

■新規登録によりスマートフォンの登録を削除（上書き）する方法

主にスマートフォンの機種変更（買い替え）の際に行う方法です。

方法

登録済みの名前で新たに登録すると、同じ名前で登録されていたスマートフォンの登録データが削除（上書き）されます。

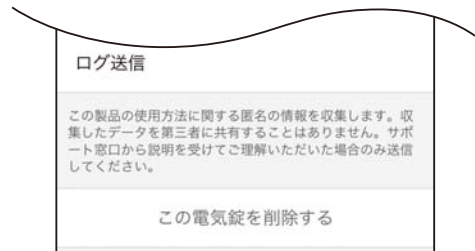
■自分のスマートフォンの登録を削除する方法

使用しなくなったスマートフォンの登録を削除するにはアプリをアンインストールするか次の方法で削除することができます。

方法

「≡メニュー→電気錠の設定→この電気錠を削除する」から削除を行えます。削除したスマートフォンからは全ての操作ができなくなりますのでご注意ください。

※「この電気錠を削除する」の項目は下へスクロールしないと見えない場合があります。



■お知らせ

通信エリア内でこの操作を行うとドア本体側とスマートフォン側の登録が両方同時に削除されます。

通信エリア外でこの操作を行うとスマートフォン側の登録は消えますがドア本体側には登録情報が残り、登録件数としてカウントされますので他のスマートフォンから削除してください。

■他のスマートフォン、カードキー、タグキー、リモコンの登録を削除する方法

アプリ上から自分のスマートフォン以外の登録データを削除することができます。*1

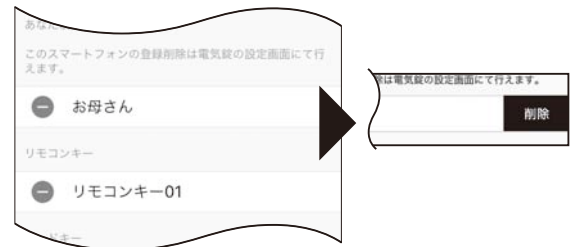
本操作を行うと、その時点から対象の機器がご使用できなくなります。利用者本人の合意のうえ削除を行ってください。

方法

「≡メニュー→電気錠の設定→登録確認・削除」から画面右上の編集を押してください。

●のマークを押し **削除** を押すと登録が削除されます。

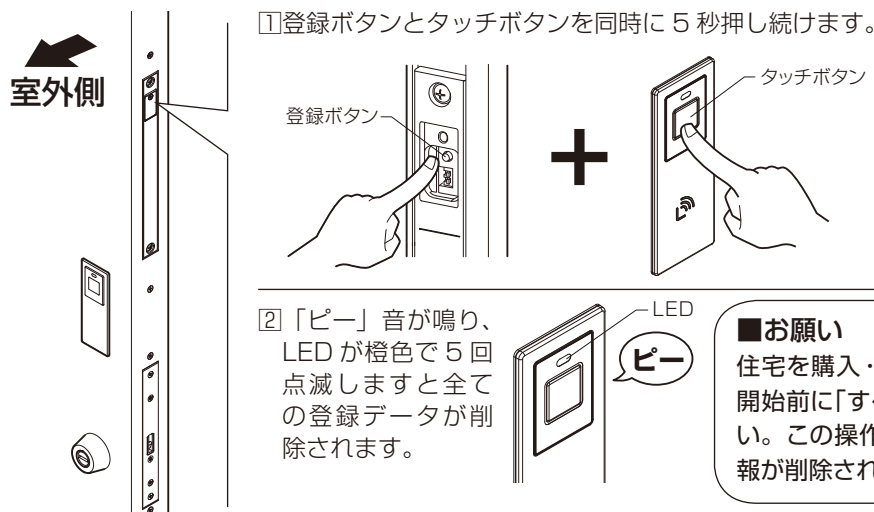
*1) この操作は通信エリア内のみ行えます。ドアの近くでスマートフォンを操作し実施してください。スマートフォンは個別での削除が可能です。カードキー・リモコンの登録データはそれぞれ一括での削除になります。



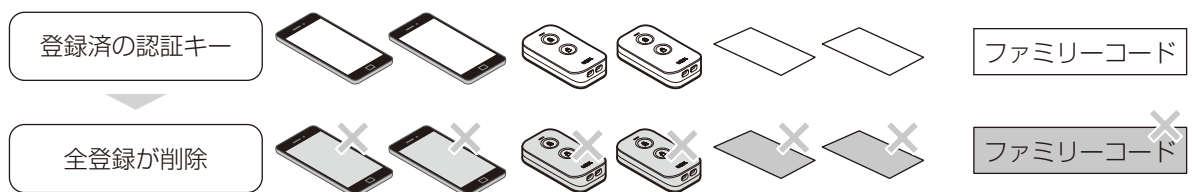
3

すべての登録データを削除する

以下の操作をすることでそのドアに登録されている全ての登録データ（ファミリーコード含む）を削除することができます。



■お願い
住宅を購入・転売・借入等された場合は、ご使用開始前に「すべての登録データを削除」してください。この操作により、工事中や前入居者の登録情報が削除されますので不正な利用が防止されます。

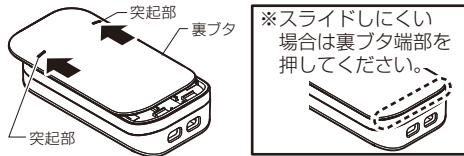


リモコンについて

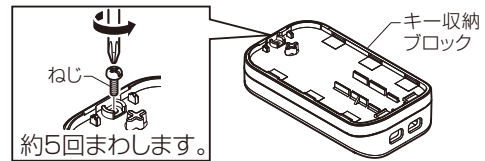
1

リモコンの電池を交換したい

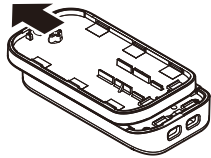
①裏側の突起部を押し、裏ボタンをスライドさせて外します。



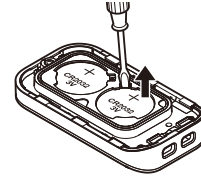
②キー収納ブロックのねじを外します。



③キー収納ブロックをスライドさせて外します。

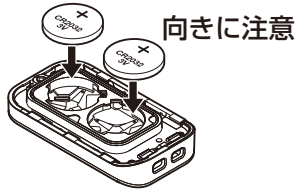


④マイナスドライバーで古い電池を取り出します。



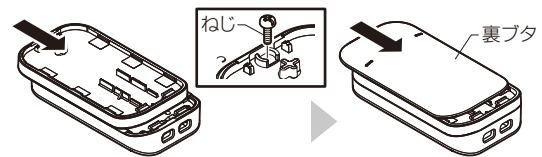
⑤新しい電池を入れます。

■使用電池
コイン型 リチウム電池
CR2032 2個



※電池は2個とも新しいものに交換してください。
電池1個でも作動しますが電池寿命が短くなります。

⑥キー収納ブロックとねじを取付け後、裏ボタンを取り付けます。



■電池交換時のお願い

- ・リモコンの内部や電池に水や汚れを付着させないでください。動作不良の原因になります。また、水漏れ検知ラベルが反応し柄が不鮮明な場合は保証を受けられません。
- ・リモコンの電池は『CR2032』を使用してください。これ以外の品番の電池を使用すると接触不良が発生するなどにより正常に作動しません。
- ・電池の向きを間違えると、片方の電池が異常消耗し、発熱や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ・電池は、自治体の条例などの定めがある場合には、その条例に従って廃棄してください。

水漏れ検知ラベル
※白地に赤い柄

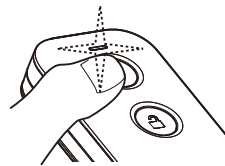


2

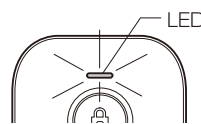
リモコンの電池交換時期を知りたい

リモコンのランプは通常「緑色」に点灯しますが、電池交換時期になりますと「赤色」に点灯し、電池の交換時期をお知らせします。点灯後は速やかにリモコンの電池を交換してください。

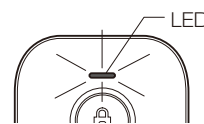
※同梱の電池は作動確認用の為、寿命が短い場合があります。



通常：緑色で点灯



電池交換時：赤色で点灯



■電池の特性について

- ・電池は、冷えると電圧が低下する特性があります。このため、冬季など気温が低下し電池が冷えると、電池の交換時期のお知らせ表示が出ることがあります。ただし、気温が上がるなどして、電池の温度が上がると交換時期のお知らせは出なくなることがあります。交換時期のお知らせが続く場合は、電池の消耗が考えられますので電池を交換してください。
- ・極端に気温が低下した場合や指定外の電池を使用された場合は、電池交換のお知らせなく、急に電池切れとなり作動しなくなることがあります。
- ・同梱の電池は作動確認用のため、寿命が短い場合があります。

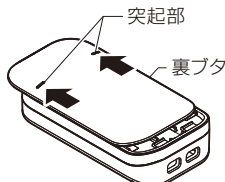


3

標準キーの収納方法と取り出し方

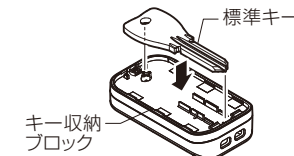
リモコン内に標準キーを収納することができます。(※リモコンご購入時には標準キーは収納されていません。)

①裏側の突起部を押し、裏ボタンをスライドさせて外します。



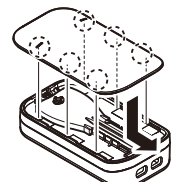
※スライドしにくい場合は裏ボタン端部を押ししてください。

②標準キーをキー収納ブロックに収納/取出します。



※オーナーキーは収納できません。

③ツメ位置を合わせ、裏ボタンをはめ、スライドさせます。



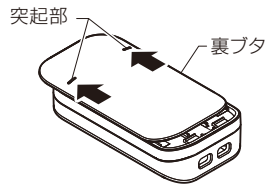
4

リモコンのスリム化 (キー収納ブロックの取外し)

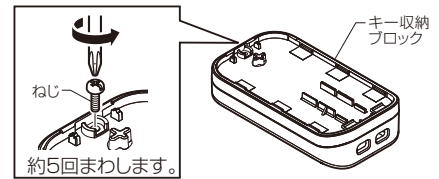
キー収納ブロックを外すとリモコンをスリムにすることができます。

※スリム化すると標準キーを収納できませんが万が一の事態に備えて、標準キー (カギ(●)) も携帯してください。

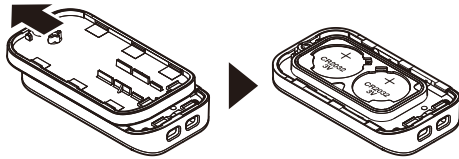
①裏側の突起部を押し、裏ボタンをスライドさせて外します。



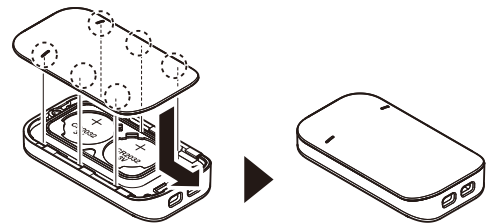
②キー収納ブロックのねじを外します。



③キー収納ブロックをスライドさせて外します。



④ツメ位置を合わせ、裏ボタンをはめ、スライドさせます。

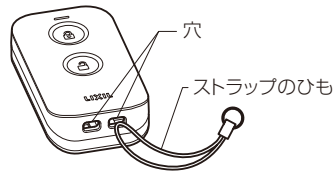


※取外したねじとキー収納ブロックはなくさないよう保管してください。
ねじを紛失した際は、「なべ小ねじM2×5」を代用いただけます。

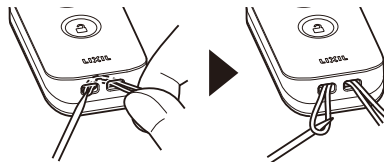
5

ストラップの通し方

①片側の穴へストラップのひもを挿入します。



②もう一方の穴からピンセットや先の細い棒などを使い、ひもを取出します。



③引き張りだしたひもにストラップの根本側を通し完了です。



※金属製のリングなどを通し使用する場合は、リモコンが破損することがありますのでご注意ください。

6

リモコンのオートスリープ機能について

リモコンは 10 秒間静止すると自動的にスリープ状態になり、タッチボタン操作ができなくなります。スリープ状態は、リモコンを軽く揺らすなどして動かすかリモコンのボタンを押すと解除されます。

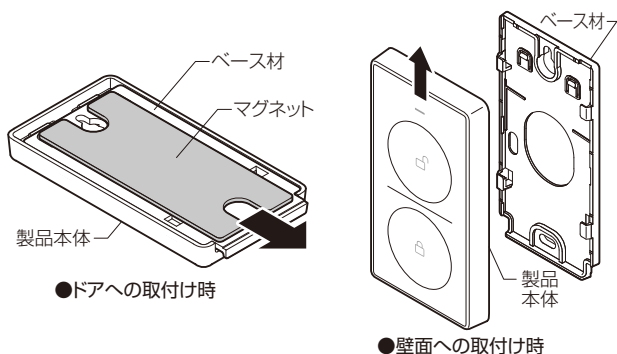
※予期せぬ振動でスリープが解除される場合に備え、リモコンはドアから離して保管してください (P.2)



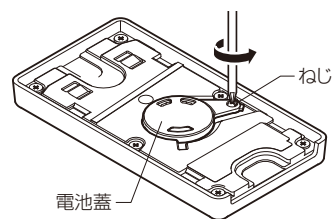
ワイヤレス屋内ボタンについて

ワイヤレス屋内ボタンの電池を交換したい

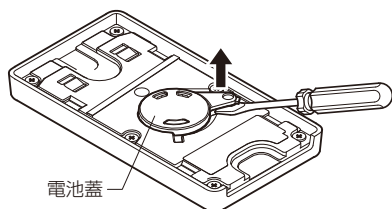
①製品本体からベース材をスライドさせて外します。壁付け設置の場合は製品本体を上にもスライドして取外します。



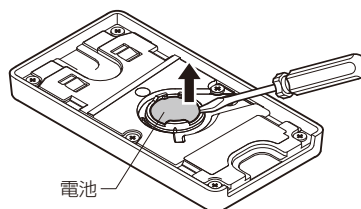
②電池蓋のねじを外します。



③マイナスドライバーをねじの根元に差し込み電池蓋を外します。

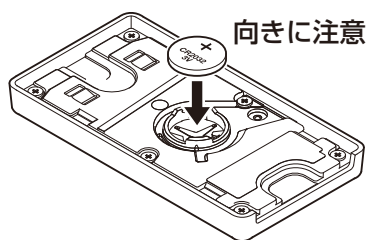


④マイナスドライバーで古い電池を取出します。

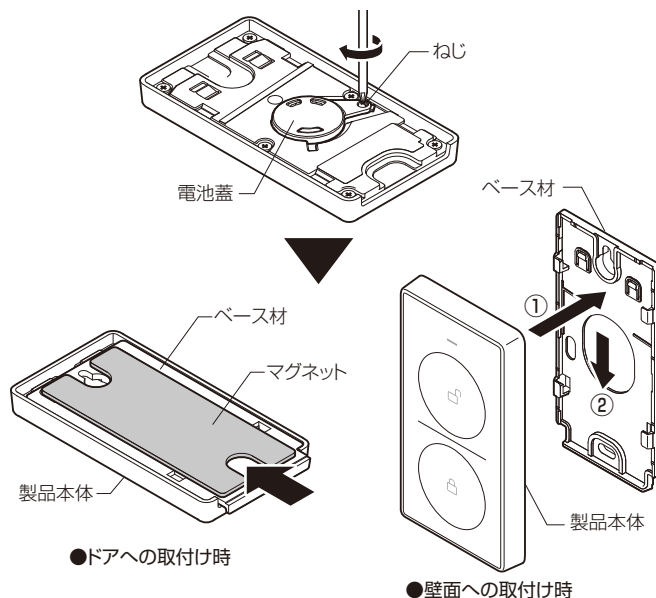


⑤新しい電池を入れます。

■使用電池
コイン型 リチウム電池
CR2032
1個



⑥電池蓋とねじを取付け後、ベース材を取付けます。壁面への取付け時は矢印①、矢印②の順でカチッと音がするまで下に差込んでください。



■電池交換時のお願い

- ・屋内ボタンの内部や電池に水や汚れを付着させないでください。動作不良の原因になります。
- ・電池は、自治体の条例などの定めがある場合には、その条例に従って廃棄してください。
- ・屋内ボタンの電池は『CR2032』を使用してください。これ以外の種類を使用すると接触不良が発生するなどにより正常に作動しません。
- ・電池の向きを間違えると、発熱や故障の原因となりますのでご注意ください。

お手入れ方法

■電装機器のお手入れ方法

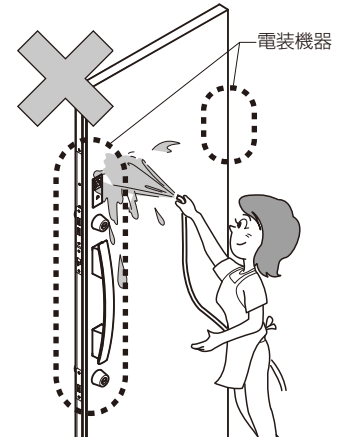
①表面についた砂やほこりをていねいに取除きます。隅の清掃は歯ブラシを利用すると便利です。

②水で濡らし、固く絞った柔らかい布で全体の汚れを拭き取ります。特に汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液を布に付け汚れを落とし、その後水拭きします。

※上記の場合で落ちない汚れは、布にエタノールを含ませて拭いてください。その際、エタノールが商品に付いた状態で放置しないで拭き取ってください。放置すると、シミや変色の原因になります。

■お願い

- ・電装機器には水がかからないようにご注意ください。電装機器内部に水が入り故障することがあります。
- ・酸性薬品、アルカリ性薬品、塩素系薬品、有機溶剤は、塗膜はがれを引き起こしますので、使用しないでください。
- ・硬い布やブラシなどで強くこすると、ドア表面材にキズをつけてしまいますのでご注意ください。



こまったときには

1

故障かな?と思ったら

まずは、次の内容をご確認ください。

また電気錠に関する内容は「玄関ドア 電気錠サポート」サイトにて詳しくご説明させていただいております。それでも問題が解決できない場合はお客様相談センターに相談されるかご購入の販売店にご相談ください。



電気錠に関するトラブル診断やご使用方法などがご確認いただけます。

玄関ドア 電気錠サポート

<https://www.lixil.co.jp/support/q/d/de03.htm>

	こんなときは	ここを確認してください。	
誤作動する。	勝手に解錠した。	ポケットやバッグの中のリモコンやスマートフォンのボタンが、意図せず押されて解錠した。	
錠（デッドボルト）が出たままになる。	施錠動作中にドアを開けた。	ドアを開けると電動サムターンが停止し、錠（デッドボルト）が出たまま止まる場合があります。電動サムターン作動中は、サムターンに触れたりドアを開けたりしないでください。	
サムターンやカギを手で回すと固い 	作動中サムターンに触れたり、ドアを開けた。	電気錠を保護するクラッチ機能が一時的に働いた為で故障ではありません。通常より固いですがサムターンやカギを回すこともできます。電気錠で操作をすると元に戻ります。	
	電地切れ表示が点灯していた。 		電動サムターンの作動途中で電池が切れ、停止してしまいました。新しい電池に交換し、再度電気錠による操作を行ってください。
	錠（デッドボルト）がストライクに接触している。 		ストライクを調整し、解消することができますので『お施主様用 保存版 取扱い説明書』の建付け調整の項目をご確認ください。
施錠できない。	ピ音が5回鳴った。	ドアが開いています。閉めてから操作してください。	
おサイフケータイをカギとして登録できない。	おサイフケータイで楽天 Edy を利用していない。	おサイフケータイをカギとして使用できるように登録するには、楽天 Edy アプリのダウンロード・初期設定が必要です。	
カードキー、タグキーが使えない。	財布やパスケースに入れると動かない。 	ほかの非接触型 IC カードや小銭などと一緒にかざした場合、作動しないことがあります。	
リモコンのボタンやタッチボタンの反応が悪い。	スマートフォンと比べてリモコンの反応が悪い。	リモコンはボタンを押してから接続を開始するため、スマートフォンに比べ施開錠動作が1秒遅くなりますが、故障ではありません。	
リモコンのボタンを押しても施錠も解錠もできない。	リモコンのボタンを押してもランプが点かない。	・ リモコンの電池が切れました。新しい電池に交換してください。→ (P.26) ・ 電源が OFF になっています。2つのボタンを同時長押しにて電源を ON にしてください。→ (P.8)	
	リモコンのボタンを繰り返し押しすと、ボタンが効かない時がある。	動作作動中や通信中は反応しない場合があります。	

	こんなときは	ここを確認してください。
タッチボタンの反応が悪い。	ドアとの間に Bluetooth 通信を遮断する人体、物がある。	スマートフォンやリモコンをドアに近づけるなどして、通信経路を確保してください。→ (P.10)
	ドアの近くに壁や扉などの電波を反射する物がある。	Bluetooth の電波が物に反射し、電波どうしが干渉する場合があります。干渉しない位置にスマートフォンやリモコンを動かしてください。
タッチボタンを押しても反応しない。	スマートフォンの Bluetooth が OFF になっている。	スマートフォンの設定画面で Bluetooth を ON にしてください。
	スマートフォンのアプリが起動していない。	アプリを起動してください (バックグラウンドも可)。
	スマートフォンのバッテリーの消費を抑える機能が働いている。	バッテリーの消費を抑える機能により、バックグラウンドで作動している My Entrance アプリが制限されています。スマートフォン側の設定で解除してください。
	「タッチ施錠」の設定が OFF になっている可能性があります。	「タッチ施錠」の設定を ON にしてください→ (P.13)
	タッチボタンを押したあと、LED が橙色で点滅する。	玄関キーが登録されていません。登録を行ってください。→(P.6)
スマートフォンのアプリ「My Entrance」を登録できない。	スマートフォンの Bluetooth が OFF になっている。	スマートフォンの設定画面で Bluetooth を ON にしてください。
	ドアが閉まっている、またはカギが施錠状態になっている。	ドアは開いた状態かつカギは解錠状態で登録を行ってください。
	ファミリーコードを忘れてしまった。	ファミリーコードはアプリ上にてご確認ください。→ (P.9)
施錠のメール通知が届かない。	アプリ上で設定を行っていない。	アプリ「My Entrance」を開き「メール通知設定」を行ってください。→ (P.11)
	入力した送信先アドレスが間違えている。	送信先のメールアドレスが間違っていないかご確認ください。
	「迷惑メール」として認識されている。	受信側の端末の設定 (メールサービス、メールソフト、ウイルス対策ソフト等) により迷惑メールとして認識されている可能性があります。受信側端末のソフトやキャリアの受信設定をご確認ください。
「電気錠の設定」が変更できない。(登録確認・削除等)	文字がグレーになっており触っても反応しない。	スマートフォンとドアが通信エリア内で通信が行われている状態ではないと変更できません。スマートフォンの Bluetooth が ON になっているのをご確認の上、ドアの近くで行ってください。
施錠履歴がアプリに反映されない。	ドアから離れた所で確認した。	スマートフォンとドアが通信中 (通信エリア内) に操作する事で履歴が更新されます。
	スマートフォンの Bluetooth が OFF になっている	スマートフォンの Bluetooth が ON になっているのをご確認の上、ドアの近くで行ってください。
スマートフォンを紛失した。	紛失したスマートフォンの登録を削除してください。	他のスマートフォンのアプリ上から削除してください。他のスマートフォンがない場合は、「すべての登録データを削除する」で登録データを削除してください。→ (P.25)
リモコン、カードキー、タグキーを紛失した。	紛失したリモコン、カードキー、タグキーの登録を削除してください。	登録されているスマートフォンのアプリ上または、上書きにて削除してください→ (P.24) スマートフォンや他のリモコン、カードキー、タグキーがなく削除できない場合は「すべての登録データを削除する」で登録データを削除してください。→ (P.25)
スマートフォンを機種変更したい。		前のスマートフォンと同じ名前で新しいスマートフォンを登録してください。前のスマートフォンの登録が削除 (上書き) されます。登録方法→ (P.25) 前のスマートフォンの登録削除→ (P.25)

商品仕様

■ドア側(電池式)

入力電源仕様	DC6V アルカリ乾電池 単3形 8本 (4本の直列接続を2並列で接続)
電池寿命	約 1年 (常温20℃ 操作: 10回/日)
出力周波数	2402~2480MHz / 13.56MHz
電界強度	85dB μ V/m / 112dB μ V/m (参考値)
無線局の種類	誘導式読み書き通信設備 2.4GHz帯高度化小電力データ通信システム
使用環境温度範囲	-10~50℃ (電池を除く)
使用環境湿度範囲	20~90% (相対湿度)
保存環境温度範囲	-20~60℃
スマートフォン登録可能数	計10台(最大同時接続数6台)
リモコン登録可能数	
カードキー登録可能数	最大10枚

■カードキー

使用環境温度範囲	-10~50℃
保存環境温度範囲	-20~60℃

■リモコン

入力電源仕様	DC3V リチウム コイン電池CR2032 2個
電池寿命	約 1年 (常温20℃ 操作: 10回/日)
出力周波数	2402~2480MHz
電界強度	85dB μ V/m (参考)
無線局の種類	2.4GHz帯高度化 小電力データ 通信システム
使用環境温度範囲	-10~50℃
使用環境湿度範囲	20~90% (相対湿度)
保存環境温度範囲	-20~60℃

■タグキー

使用環境温度範囲	-20~60℃
保存環境温度範囲	-20~60℃

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、裏表紙に記載のお客さま相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。

アフターメンテナンスについて

保証について

保証期間中は、保証の規定にしたがって修理をさせていただきます。
保証期間中でも有料になる場合がありますので「**■商品保証について**」の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の『**取扱い説明書**』をもう一度ご確認くださいの上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお求めの施工店、工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

- ①ご住所・お名前・電話番号
- ②商品名・品番
- ③ご購入日又はご入居日
※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
- ④故障又は異常の内容
- ⑤訪問ご希望日
- ⑥LIXIL修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

点検および修理の依頼先

- ・お求めの取扱い店
- ・製品に表示している連絡先
- ・LIXIL修理受付センター ☎ 0120-413-433

点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、点検および故障箇所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品代です。
出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（商品の機能維持には問題ない範囲内で色やデザインが異なる代替部品も含まれます。）の最低保有期間は、製造打ち切り後10年です。電装系部品については製造打ち切り後7年、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、製造打ち切り後2年としております。
※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

また、修理用部品の供給が難しい場合は、新シリーズの類似商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、LIXIL 公式通販サイトよりご注文いただけます。

- リクシルストア <https://store.lixil.co.jp/>

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター ☎ 0120-126-001にご連絡ください。

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

■ 対象商品 サッシ・ドア商品

■ 保証期間 施工者よりの引き渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)

注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

※ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品(同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る)からの雨水浸入については10年間とします。

■ 保証内容 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合は除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがあります。これは商品上の特性であり不具合ではありません。

不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■ 免責事項 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合

(例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など)

②お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合

(例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など)

③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合

④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合

⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合

⑥商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合

(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など)

⑦商品又は部品の材料特性に伴う現象

(例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど)

⑧天災その他の不可抗力

(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合

⑨施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合

⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合

⑪引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合

(例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合)

⑫お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合

⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合

⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

*保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

2013年4月

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装(株) サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433 FAX. ☎ 0120-413-436

<https://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

取説番号 MAM-931F | 事業所コード AXU6 | 2024.1.30発行

